



## 中心市街地活性化への歩み



TMO法人  
豊田まちづくり株式会社

豊田市若宮町1-57-1 〒471-0026  
www.tm-toyota.co.jp  
main@tm-toyota.co.jp



TMO法人  
豊田まちづくり株式会社

# 目次

ごあいさつ	1
TMO法人豊田まちづくり(株)の設立経緯及び事業経過	2
会社概要	4
会社組織	6
会社決算の推移	7
中心市街地活性化基本計画	8
商業機能の充実	
・豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業	10
・テナントミックス事業	12
・大型空き店舗活用支援事業	13
・ショッピングモール核整備推進事業	14
・桜町本通り商店街振興組合活性化事業	16
・チャレンジショップ TM SEED	18
集客プロモーションの充実	
・集客プロモーション事業	20
・まちなか宣伝会議	21
・情報発信事業	
・屋外回転広告(AIRS)	22
・豊田市総合案内板情報表示装置	23
環境整備	
・フリーパーキング事業	24
・TM若宮パーキング	26
・豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業	28
・多目的広場整備事業	30
・ショッピングカート共同利用事業	31
・まちなかレンタルサイクル	32
・有料駐輪場事業	33
豊田市の取組み事業	
・豊田市商業振興条例	34
・商業活性化推進交付金による事業の数々(TMO提案)	36
・豊田市都市整備事業	38
豊田商工会議所の取組み	
・豊田市中心市街地におけるランドデザイン提言	42
・豊田商工会議所会館	44
豊田市駅前通り南地区市街地再開発組合の取組み事業	45
資料	
・豊田市データ	46
・交通アクセス	48
・豊田市の産業	50
・豊田市の財政	51
・周辺商業施設概要	52
・通行量調査	54
まちづくり推進団体	56

# ごあいさつ

「中心市街地活性化への歩み」の編纂に当たり、まちづくり事業に携わる多くの方々に、改めて厚く感謝申し上げます。この冊子は、発行以来第3回目になりますが、皆様と共に歩いた「まちづくりの道」に残した足跡を記録に留め、また、積み重ねた事業の数々をご紹介しますものであります。

さて、豊田まちづくり(株)は、大型商業施設の破綻による中心市街地の混乱を收拾する為に、行政当局の英断によって設立されました。その後、平成14年3月末、TMO法人の認定を受け、「豊田市中心市街地活性化計画」に基づく各種のまちづくり事業に取り組んで参りました。今日の中心市街地の生成は、行政・商工会議所・商店街・豊田まちづくり(株)の連携・協働の下に進められて来たものであります。

お蔭様で、当冊子「会社概要」に記載の通り、設立後4年を経過致しましたが、各方面のお力添えを得て、経営内容は順調な足取りを示しております。又、まちづくりの取り組みに於いても、行政・商工会議所・商業者はもとより住民も交えた「まちづくり活動」が芽生えて実施されており、総合的な視野でのまちづくりが着実に進んでいる事を実感する所であります。

さて、従来の中心市街地活性化政策は、商業偏重により必ずしも十分な効果を挙げ得なかったとの観点から、もっと総合的な視野に立った「都市づくり」・「都市再生」の観点でのまちづくりへ政策の舵が切り替えられ、「まちづくり三法」の見直しが進められております。法制的転換・施行により、TMO法人の認定は消滅しますが、当社のまちづくりに対する使命・経営方針・経営課題は何ら変わるものではありません。

「まちづくり」は「故郷づくり」であります。故郷を愛する情熱と努力が、文化と情緒を育み、更なる「まちづくり」への礎石に成る事と信じます。これからも、変わることなき情熱を傾けて「まちづくりの道」を歩いて参りたいと、一同心を新たにしております。今後とも、宜しくご指導・ご支援の程をお願い申し上げます。

平成18年6月

TMO法人  
豊田まちづくり株式会社  
会長 板倉 猛  
代表取締役 鈴木 幸穂



# TMO法人豊田まちづくり(株)の設立経緯及び事業経過

## 破綻による混乱期

平成12年	7月12日	(株)豊田そごう民事再生手続き開始の申立て
	7月26日	(株)豊田そごう民事再生手続き開始の決定(東京地方裁判所)
	9月1日	豊田市がA館9階に子育て支援センターを開業
	10月25日	<b>豊田そごう閉店発表</b>
	10月30日	中心市街地まちづくり会議、(協)豊田市商店街連盟が豊田市長へ要望書提出
	11月2日	市議会思政クラブが豊田市長へ要望書提出
	11月27日	豊田商工会議所が「中心市街地の活性化・再生に関する提案・要望書」を豊田市長に提出(再生スキーム案の提出)
	12月13日	豊田市が中心市街地を考えるまちづくり意識調査実施(アンケート)
	12月25日	<b>豊田そごう閉店</b>
平成13年	3月9日	そごう再生本部との交渉妥結
	3月12日	東京地方裁判所による再生手続きの廃止決定
	3月16日	債権銀行団との交渉妥結
	3月21日	<b>3月定例会市議会で緊急活性化条例、貸付金の予算可決</b>
	4月12日	豊田市より、とよた商人(株)に48億円の貸付実行
	4月13日	とよた商人(株)が(株)豊田そごうの土地、建物、債権を取得
	4月16日	<b>(株)松坂屋との出店に関する基本合意書調印 (株)松坂屋が出店表明</b>
	4月18日	東京地方裁判所にて(株)豊田そごう破産決定

## 豊田まちづくり(株)の創立期

平成13年	4月20日	<b>臨時株主総会、とよた商人(株)を改組、豊田まちづくり(株)に商号変更、新役員選任</b>
	6月27日	平成12年度・第7期 定時株主総会
	9月29日	資本金確定(4億9,090万円)
	10月25日	<b>松坂屋豊田店開店、とよた市民活動センター開業</b>
	11月22日	(株)マイカルが会社更生法適用を申請
平成14年	1月28日	<b>(株)マイカルが豊田サティを含む19店舗閉鎖を発表</b>
	2月26日	豊田まちづくり(株)、豊田都市開発(株)臨時株主総会にて分割契約書承認
	3月29日	<b>豊田市が豊田まちづくり(株)をTMO法人として認定</b>
	3月31日	豊田まちづくり(株)が分社型吸収分割により、豊田都市開発(株)を統合

## TMO法人豊田まちづくり(株)の本格始動

### ●第一期3ヶ年計画(平成14年度～16年度)経営基盤整備の期

平成14年	4月1日	<b>会社分割登記、TMO法人豊田まちづくり株式会社の発足</b>
	4月10日	豊田都市開発(株)が会社解散決議
	4月16日	臨時株主総会
	4月26日	<b>トヨタ生協が豊田サティ後継店としての出店方針を発表</b>
	5月31日	豊田サティ閉店

	6月28日	平成13年度・第8期 定時株主総会
	7月15日	<b>メグリアセントレ(トヨタ生協)1階(食品)オープン</b>
	10月19日	<b>メグリアセントレ(トヨタ生協)2階(衣料・雑貨)オープン</b>
	11月1日	まちなかクリーンアップ事業始動
	11月2日	チャレンジショップ「TM SEED」開業
平成15年	3月19日	TM若宮パーキング工事着手
	4月1日	<b>中心市街地フリーパーキング事業の開始</b>
	5月30日	豊田まちづくり(株)が大型空き店舗活用支援事業補助金を活用してギャザビル3階にテナント誘致、オープン
	6月30日	平成14年度・第9期 定時株主総会
	8月22日	まちなか宣伝会議立ち上げ
	9月6日	まちなかレンタルサイクル事業開始
平成16年	3月5日	B館T-FACE3階リニューアルオープン
	3月20日	<b>TM若宮パーキング竣工</b>
	6月30日	平成15年度・第10期 定時株主総会
	8月30日	TM若宮パーキング1階 豊田市ITS情報センター「みちなびとよた」開業
	8月31日	多目的広場(シティプラザ)整備事業竣工
	11月6日	チャレンジショップ「TM SEED」リニューアルオープン
平成17年	3月19日	東海環状自動車道鞍ヶ池公園ハイウェイオアシスにコンビニエンスストア開業
	3月31日	第一期3ヶ年計画(平成14年度～16年度 経営基盤整備の期)の終了 平成16年度決算で過去の累損を解消

### ●第二期3ヶ年計画(平成17年度～19年度)経営強化前進の期

	5月25日	平成17年度第2回取締役会 借入金48億(豊田市)の返済開始を決議
平成17年	6月3日	地域限定ハローキティグッズ販売開始
	6月8日	豊田市より、豊田市商業活性化交付金、商業活性化推進3ヶ年計画の認定
	6月29日	第11期定時株主総会
	7月29日	借入金(豊田市)の返済開始
	10月1日	ショッピングカート共同利用事業オリジナルカート登場 豊田ITオープンカフェ社会実験(一部運営受託)(～30日まで)
	10月4日	まちづくり特別講演会開催(講師:日本政策投資銀行 藻谷浩介氏)
	10月25日	桜町本通り商店街振興組合ファザード整備事業TMO計画認定
平成18年	1月5日	産業文化センター駐車場がフリーパーキング事業に加盟開始
	2月13日	駅西再開発ビル等総合管理委託業務(提案型見積競争)入札執行
	3月15日	豊田商工会議所会館竣工
	4月1日	エコステーション21豊田駅西(ビル外周駐輪場有料化事業)開業
	4月30日	「桜町本通り商店街ファザード事業」「市道中町線・桜町1号線道路整備事業」完成式典

# 会社概要

## 会社概要

- 【商号】 豊田まちづくり株式会社  
【本店】 愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1  
【設立】 平成13年4月20日  
【資本金】 授權資本 12億9,600万円  
払込資本 4億9,090万円

### 【株主構成】

株主	株主数	出資額 (単位:千円)	株主数比率 (単位:%)
大企業	25名	81,900	12.44
中小企業・個人	171名	36,450	85.07
内/商業関係	(87名)	(16,100)	(43.28)
団体	5名	372,550	2.49
合計	201名	490,900	100.00

### 【大株主】(100株以上)

株主名	持株数	出資額 (単位:千円)	出資比率 (単位:%)
豊田市	6,240	312,000	63.55
豊田商工会議所	991	49,500	10.09
トヨタ自動車株式会社	400	20,000	4.07
(株)三菱東京UFJ銀行	200	10,000	2.03
株式会社松坂屋	200	10,000	2.03
豊田鉄工株式会社	200	10,000	2.03
協同組合豊田市商店街連盟	100	5,000	1.01
大豊工業株式会社	100	5,000	1.01
豊田信用金庫	100	5,000	1.01
小島プレス工業株式会社	100	5,000	1.01
太啓建設株式会社	100	5,000	1.01
合計	8,731	436,500	88.92

### 【役員体制】 取締役および監査役(平成17年4月1日現在)

取締役会長	板倉 猛	財団法人豊田市都市整備公社 副理事長
代表取締役	鈴木 幸穂	豊田まちづくり株式会社 代表取締役
取締役	中村 紀世実	豊田市 助役
取締役	伊藤 喜代司	豊田市 産業部部長
取締役	牧野 純二	トヨタ自動車株式会社 総務部部長
取締役	寺田 壽孝	豊田酒造株式会社 代表取締役
取締役	今井 康夫	豊田商工会議所 副会頭
取締役	河木 照雄	豊田商工会議所 副会頭
取締役	深津 和則	豊田まちづくり株式会社 事業統括取締役
監査役	宇井 銀之	豊田市 収入役
監査役	渡辺 祥二	豊田商工会議所 会頭

## 経営理念

TMO法人豊田まちづくり(株)は、

1. 新豊田市まちづくりのために、行政・会議所・商業者及び地域の方々と共働して、地域発展に寄与する各種事業を推進する。
2. 第三セクターの企業経営責任を自覚し、常に健全経営を追求して適切な情報公開のもと地域社会の信頼を得る。
3. 従業員の能力向上を支援すると共に、働き甲斐のある職場を目指し、その安心・安全と幸せを守る。

## 基本方針

1. 長期的な経営(利益)計画の策定・実行
2. 商業環境整備・地域開発等の各種まちづくり事業の推進
3. 商業デベロッパーのノウハウ駆使、迅速な事業展開及び新規事業の企画開発
4. 人材の育成と働き甲斐のある職場
5. 適時適切な経営情報の公開

## 主な業務内容

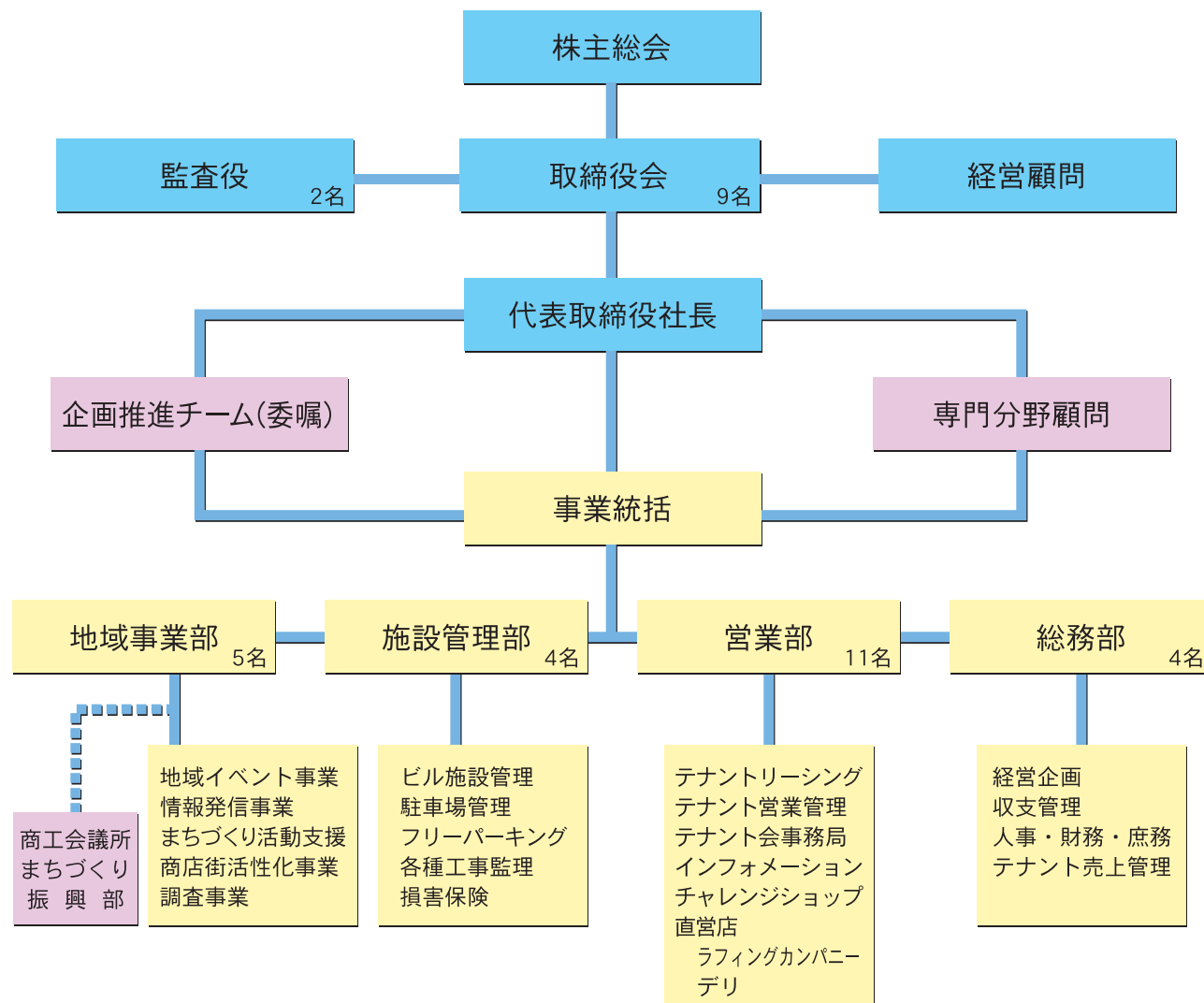
1. 豊田市駅西口市街地再開発ビル(大型商業施設)のデベロッパー業務
  - ・不動産の賃貸借、管理・維持・保全
  - ・テナントリーシング、入替
  - ・テナント会運営、販売促進等広告宣伝業
  - ・直営店事業(アウトドアショップ、輸入食材ショップ)
  - ・損害保険代理業
2. 駐車場の管理運営業務
  - ・自社駐車場の管理運営
  - ・中心市街地駐車場の一体管理システムの管理運営
3. 地域開発に向けた各種まちづくり事業
  - ・イベント事業
  - ・調査事業
  - ・チャレンジショップ事業
  - ・まちづくりの活動支援事業

# 会社組織

## 組織編成方針

1. 経営顧問(2名)を委嘱し、経営全般にわたる助言を受ける。
2. 社長の諮問機関として、企画推進チームを組成し、事業執行の円滑推進を図る。
3. 業務推進体制は、事業統括取締役の下、4部制とし、業務別責任担当制をとり相互補完できる機動的組織とする。

(平成17年4月1日現在)



# 会社決算の推移

## → 連続貸借対照表

(単位:千円)

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
資産の部	流動資産	228,284	655,584	688,923	555,685	667,282
	有形固定資産	7,650,321	7,955,322	7,281,517	7,094,206	6,778,285
	無形固定資産	2,311	2,615	5,782	15,689	13,825
	投資その他資産	2,067,258	354,507	81,526	81,509	81,654
	資産の部合計	9,948,176	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048
負債・資本の部	流動負債	1,932,275	1,162,075	712,541	616,665	669,422
	固定負債・引当金	7,578,742	7,376,353	6,868,037	6,627,822	6,335,341
	負債の部合計	9,511,017	8,538,429	7,580,578	7,244,488	7,004,764
	資本金	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900
	利益剰余金	▲53,740	▲61,299	▲13,728	11,702	45,383
	資本の部合計	437,159	429,600	477,171	502,602	536,283
負債・資本の部合計	9,948,176	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	

## → 連続損益計算書

(単位:千円)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
営業収益	121,456	2,144,188	2,177,673	2,293,799	2,382,086
営業費用	115,822	2,062,574	2,174,341	2,219,543	2,271,595
営業利益	5,634	81,614	3,332	74,255	110,491
営業外収益	550	6,307	124,583	65,887	83,358
営業外費用	42,615	98,649	93,638	102,978	103,316
経常利益	▲36,430	▲10,727	34,277	37,164	90,533
特別利益	0	25,676	1,630,308	50,401	621
特別損失	0	22,216	1,602,484	51,566	29,855
税引前当期純利益	▲36,430	▲7,268	62,100	36,009	61,299
法人税、住民税及び事業税	302	290	14,529	10,578	27,617
当期純利益	▲36,732	▲7,558	47,570	25,430	33,681
前期繰越利益	▲17,008	▲53,740	▲61,299	▲13,728	11,702
当期末処分利益	▲53,740	▲61,299	▲13,728	11,702	45,383

## → 設備投資の状況

(単位:千円)

平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
駅西再開発ビル 土地・建物、駐車場の 取得等	ビル内装、TM若宮 パーキング(一部)等	TM若宮P、 ギャザビルテナント 誘致等	TM若宮P事務所、シティ プラザ整備、中央監視 システム等	ビル設備・内装、 情報セキュリティ等
7,729,870	687,894	1,281,808	240,108	67,440



# 中心市街地活性化基本計画 TMO構想に基づくまちづくりの流れ

- 平成10年7月……「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律」(中心市街地活性化法)施行
- 平成12年3月……「豊田市中心市街地活性化基本計画」策定

**中心市街地の目標像**  
— 交流がうみだす市民社会の創造拠点 —

●**活性化に向けた7つの基本方向**

1. 交流核の形成と仕組みづくり(16事業)	5. 都心居住の促進(7事業)
2. 人とクルマの共生モデルの構築(16事業)	6. 商業者、市民意識の改革(2事業)
3. 商業集積の拡大(14事業)	7. 推進体制の確立(2事業)………
4. 水と緑を生かした回遊性のあるまちづくり(9事業)	

**TMO設立**  
※全66事業を策定

- 平成13年4月……「豊田市中心市街地緊急活性化計画」

5つの基本方針

1. 継続的な活性化対策のための組織づくり
2. 駅西口市街地再開発ビルの再生
3. 中心市街地に必要な機能の誘致および拡充
4. 中心市街地の利便性向上に向けた交通対策等
5. 中心市街地の賑わいづくりのための対策

- 平成14年3月29日…… **豊田市が豊田まちづくり(株)をTMO法人として認定**

**豊田市中心市街地における中小小売商業高度化事業構想**  
(豊田市TMO構想)

●**TMOの重点8事業**

1. 駐車場管理運営事業	5. 集客拠点活性化プロモーション事業
2. 新規駐車場整備事業	6. 情報発信事業
3. テナントミックス事業	7. 豊田市駅西口再開発ビル等管理運営事業
4. チャレンジショップ事業	8. シンクタンク事業(各種計画策定)

●**その他13事業**

- 平成16年2月……「豊田市中心市街地テナントミックスビジョン」の策定

●**中心市街地商業の目指す方向**  
「自分らしい生活の創造と堪能」に貢献するショッピングモールへの転換

●**大型店の取組み**  
ショッピングモールにおける集客の核としての機能の拡充

●**商店街の取組み**  
こだわりのある商品とサービスを提供と界限機能の拡充  
・個店の転換・強化を機軸とした商店街活性化の取組み  
・商店街・個店の活性化モデル

●**支援策**  
テナントミックスビジョン実現のための支援制度の拡充・創設

- 平成17年3月……「豊田市商業振興条例」制定、「商業活性化推進交付金」制度制定
- 平成17年4月……豊田まちづくり(株)が豊田市へ「商業活性化推進3ヵ年計画」(平成17年～19年)の申請
- 平成17年6月……豊田市が「商業活性化推進3ヵ年計画」を認定

## ➡ 当社が取り組んできたまちづくり事業

	事業名	
商業機能の充実	●豊田市駅西口再開発ビル等管理運営事業	P10
	●テナントミックス事業	P12
	・大型空き店舗活用支援事業	P13
	・ショッピングモール核整備推進事業	P14
	・桜町本通り商店街振興組合活性化事業	P16
	●チャレンジショップTM SEED	P18
集客プロモーションの充実	●集客プロモーション事業	P20
	・まちなか宣伝会議	P21
	●情報発信事業	
	・屋外広告事業	P22
	・豊田市総合案内板情報表示装置	P23
環境整備の充実	●フリーパーキング事業	P24
	●TM若宮パーキング	P26
	●豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業	P28
	●多目的広場整備事業	P30
	●ショッピングカート共同利用事業	P31
	●まちなかレンタルサイクル	P32
	●有料駐輪場事業	P33

# 豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業

## 豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業の概要

豊田市駅西口市街地再開発ビルを所有し賃貸する。キーテナントとして「松坂屋豊田店」を誘致し、ファッション専門店街「T-FACE」の管理運営を行う。また賃貸事業の一環として、直営店事業を展開する。

### → 再開発ビル営業の再生

昭和63年10月に竣工した豊田市駅西口市街地再開発ビルは、A館、B館のツインビルで、百貨店「豊田そごう」(A館全館・B館4階～11階)とファッション専門店街「T-FACE」(B館1階～3階)の複合ビルとしてスタート。平成12年12月に豊田そごうの閉店後、A館1階～6階に松坂屋豊田店を誘致、その他のフロアのすべてを専門店街「T-FACE」として再オープンに至った。

### → 再開発ビルフロアマップ

A館		B館	
11F	グルメワールド	11F	グルメワールド
9F	キッズ&コミュニティ (公共サービス)	9F	グルメワールド
8F	カジュアル&エンターテイメント	8F	グルメワールド&バラエティストア
7F	ファッションライフ&ライフサービス (公共サービス)	7F	ウェディング&ビューティー・リラクゼーション
6F	子供服・リビング・宝飾・時計	6F	ワールドライフコート
5F	紳士服・紳士靴・紳士用品雑貨・スポーツ	5F	ライフグッズコート
4F	婦人服 カジュアル/エレガンス/フォーマル	4F	ベーシックスタイル&シンプルライフ
3F	婦人服 ヤング/キャリア/ランジェリー	3F	キャリアエレガンス&キャリアキャラクター
2F	ファッション雑貨・化粧品	2F	アドバンスキャラクター&トレンドグッズ
1F	食品・旬・鮮市場	1F	パワフルヤングキャラクター&バラエティーグッズ

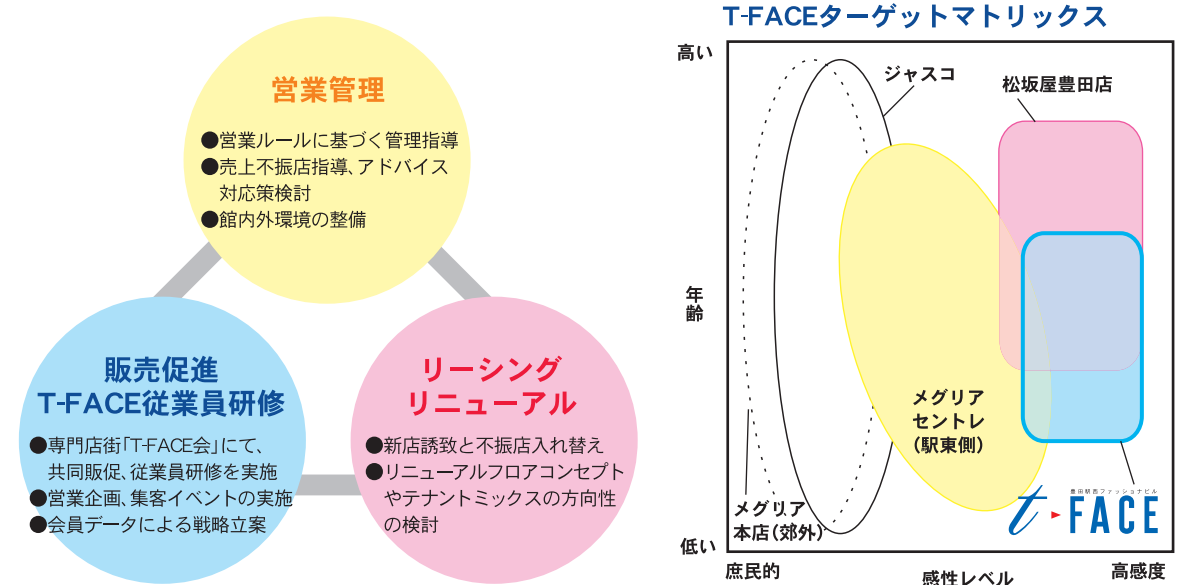
### → 施設概要

<b>建物名称</b>	豊田市駅西口市街地再開発ビル	<b>営業時間</b>	松坂屋 10:00～19:00 T-FACE 10:00～20:00 飲食街 11:00～23:00 ※一部サービス店等は異なる。
<b>所在地</b>	愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1	<b>年間休日</b>	不定休(年間3～4日程度)
<b>建物構造</b>	A館 鉄筋鉄骨コンクリート地下1階・地上9階 B館 鉄筋鉄骨コンクリート地下1階・地上11階	<b>駐車場</b>	約4,000台 ※フリーパーキングシステムに加入の近隣駐車場収容台数。 TM若宮パーキング、第1駐車場、若宮駐車場他
<b>建物面積</b>	延床面積 66,957㎡ A館:43,466㎡ B館:22,598㎡ その他:893㎡		
<b>店舗面積</b>	松坂屋豊田店 19,500㎡ T-FACE 物販 15,337㎡ 飲食・サービス 5,914㎡		

## ファッション専門店街T-FACEの運営

### → T-FACEコンセプト

ヤングからヤングマインドを持った、ファッション・流行に敏感な女性をメインターゲットとし、都市型ファッションビルとして、常に新しい情報を発信する役割を担う。



## 直営店事業

店舗経営ノウハウの蓄積、デベロッパー業務へのフィードバック、またお客様への生活支援サービスの提供を目的に事業展開。

<b>物販店</b>	ラフィングカンパニー(アウトドアショップ) デリ(輸入食材・雑貨)	<b>サービス (委託事業)</b>	ピジョンランド(託児施設)
------------	--------------------------------------	--------------------	---------------

## 豊田市駅西口市街地再開発ビル等の一括総合管理

再開発ビルの健全な維持管理に必要な業務は、緊急事案への迅速な対応、全関連業務での意識統一・連携、また業務範囲・作業量変化へのフレキシブル対応等のため一事業者(提案型見積競争入札により選定)、一括管理委託している。また、管理事業者と共に、業務の効率化による管理経費の削減策を随時検討・実施している。

### 一括総合管理

設備管理業務	清掃管理業務	保安警備業務	駐車場管理業務
--------	--------	--------	---------

# テナントミックス事業

中心市街地ショッピングモール計画

## → テナントミックスとは

テナントミックスとは「中心市街地における商業等の魅力化に向け、必要業種の誘致、業種構成、店舗配置の適正化をはかる」事業。TMOは、平成14、15年度に豊田市より「テナントミックスビジョン策定業務」を受託し、市民・消費者を対象とした各種実態調査を実施するとともに、中心市街地商業のめざす方向等について、行政・商工会議所・大型店・商店街と一体となって「豊田市中心市街地テナントミックスビジョン」を作成し豊田市に提出。今後当ビジョン具現化を、行政・商工会議所・事業者・TMOで構成する官民一体の体制で推進する。

## → テナントミックスビジョン

中心市街地テナントミックスビジョン ～豊田市中心市街地商業の活性化に向けて～  
「自分らしい生活の創造と堪能」に貢献するショッピングモールへの転換



### INDEX

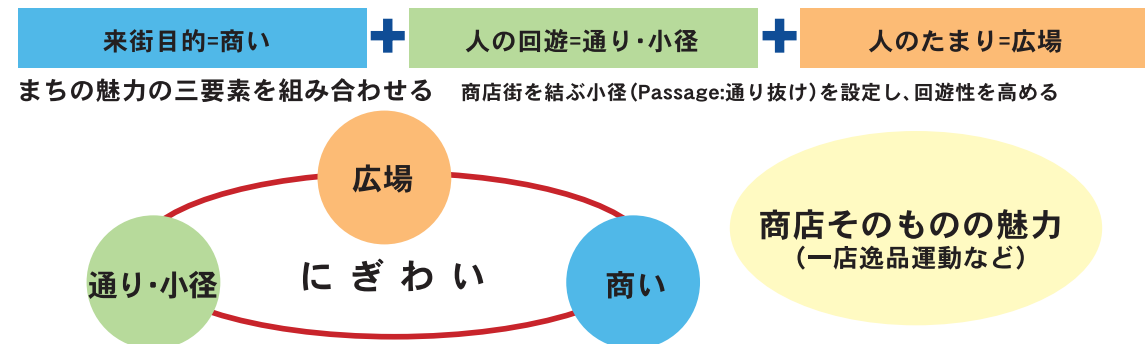
- I. 豊田市のまちづくりと中心市街地活性化の方向  
- 交流が生み出す市民社会の創造拠点
- II. 中心市街地商業のめざす方向  
- 「自分らしい生活の創造と堪能」に貢献するショッピングモールへの転換
- III. 大型店の取組み  
- ショッピングモールにおける集客核としての機能の拡充
- IV. 商店街の取組み  
- こだわりのある商品とサービスの提供と界限機能の拡充  
- 個店の転換・強化を機軸とした商店街活性化の取組み  
- 商店街・個店の活性化モデル
- V. 推進体制とプラン  
- 官民一体のTMO体制の構築と活性化に向けた実行プラン
- VI. 支援策  
- テナントミックスビジョン実現のための支援制度の拡充・創設

平成16年2月 豊田市

## → 商店街の取組み

「商店街の活性化・魅力ある商業ゾーンの構築」

### 「点から線」「線から面」発想の魅力化



# 大型空き店舗活用支援事業

魅力ある商業核づくり

## → 事業目的

商業核となるべき中心市街地の再開発ビルにある大型空き店舗を解消し、商業振興、まちづくりの推進を図る。

## → 事業概要

事業概要 豊田市駅東地区市街地再開発ビル(GAZAビル)3階の空き店舗約1,850m<sup>2</sup>をTMOが賃貸し、集客効果の高いテナントの誘致を図る。

事業年度 平成15年4月～平成18年3月

テナント名	業種	オープン日
ユニクロ豊田ギャザ店	衣料・雑貨	平成15年5月30日 ※バニーヒップは 平成16年6月5日
くまざわ書店	書店	
フェイスプラス	雑貨	
カーム/バニーヒップ	衣料・雑貨	平成15年7月25日
マジックミシン ギャザ店	衣料リフォーム	
スガキヤ	飲食店	



## → 事業形態



※国庫補助金：中小企業経営革新等対策費等補助金 豊田市補助金：中小企業団体等事業費補助金

## → 事業効果

豊田市駅東地区市街地再開発ビル3階空き店舗を活用し、ユニクロなどのテナントを誘致したことによって、テナントミックス効果が表れ、商業施設全体への波及効果が表れている。



# ショッピングモール核整備推進事業 エリアの商業集客力向上への取り組み

## → 大型店テナントミックス研究会とは…

豊田市中心市街地活性化の商業集客核として、また当エリアにおける各業態としての役割の達成状況を相互に確認し、異業態間の相乗効果～回遊性を考慮した改善案の策定と、実現のための方策を探る会議体。最終目的は各店の集客・売上の向上とする。

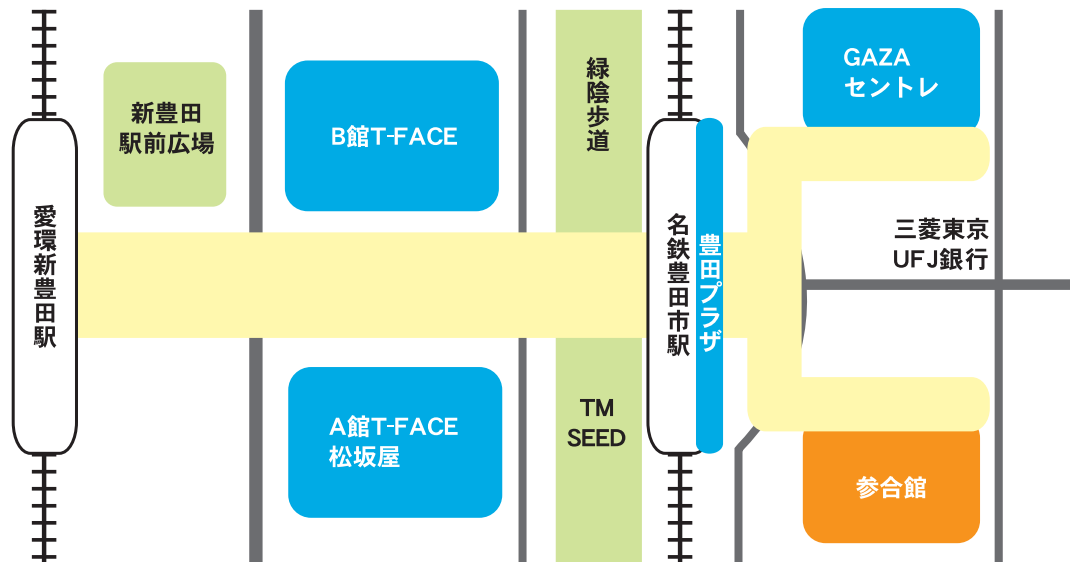
また、今後の中心市街地開発者に対し、情報の提供と、まちに必要とされる機能・業態を研究会として提案も行う。中心市街地活性化の一翼を担い、エリアの商業集客を向上させる。

当エリアにおける各業態(百貨店、SM、専門店街等)および総合力として持ち得るパワーを検証し、現状の売り逃がし、各店のMDポジショニングを再確認し、不備・欠落部分を改善する。出席メンバー連帯による相乗効果を最大限発揮するための方策までを検討し、実施する。

- ①郊外型SC等各店のパワーバランスを把握し、展開の方向性を探る。
- ②名古屋流出を食い止めるMDの可能性とMDプランを探る。
- ③各店の課題の改善(各店間の相乗効果発揮を踏まえ)を図る。
- ④大型店回遊・買い回り促進の仕組み(⇒MD面、ハード面)を検討する。
- ⑤上記をふまえ、各自リニューアルへ取り入れ、具現化する。

## → 参加商業施設

商業施設名	業種
松坂屋豊田店	百貨店
GAZA	専門店街
メグリアセントレ	スーパーマーケット
名鉄豊田プラザ	駅高架下専門店街
T-FACE	ファッション専門店ビル



## → 研究会活動内容(3ヵ年計画内容)

### 平成17年度

- ・大型店事業者による大型店テナントミックス研究会を発足し、意見交換会開催と競合店・同規模都市の視察
  - ・現状の把握: 営業状況の共通認識、既存コンセプト、課題等の確認
  - ・自店ならびに郊外店の分析: 他都市視察、競合店ベンチマーク、お客様ニーズ把握等
  - ・方向性の策定: 各店MDのあるべき姿の策定、不足業種・業態の把握
- ※コンサルティング会社に調査依頼

### 〔関東方面視察先〕

- ・千葉県柏市
- ・千葉県松戸市
- ・東京都墨田区亀戸
- ・東京都墨田区錦糸町
- ・東京都荒川区南千住
- ・埼玉県さいたま市中央区



### 平成18年度

- ・平成17年度調査内容の結論(中心市街地大型店のMD、方向性の確認)
  - ・全体テナントミックスプランの策定
  - ・各大型店MDのモデルプラン作成
  - ・他都市中心市街地(成功事例)の視察
- ※コンサルティング会社にミックスプラン作成依頼

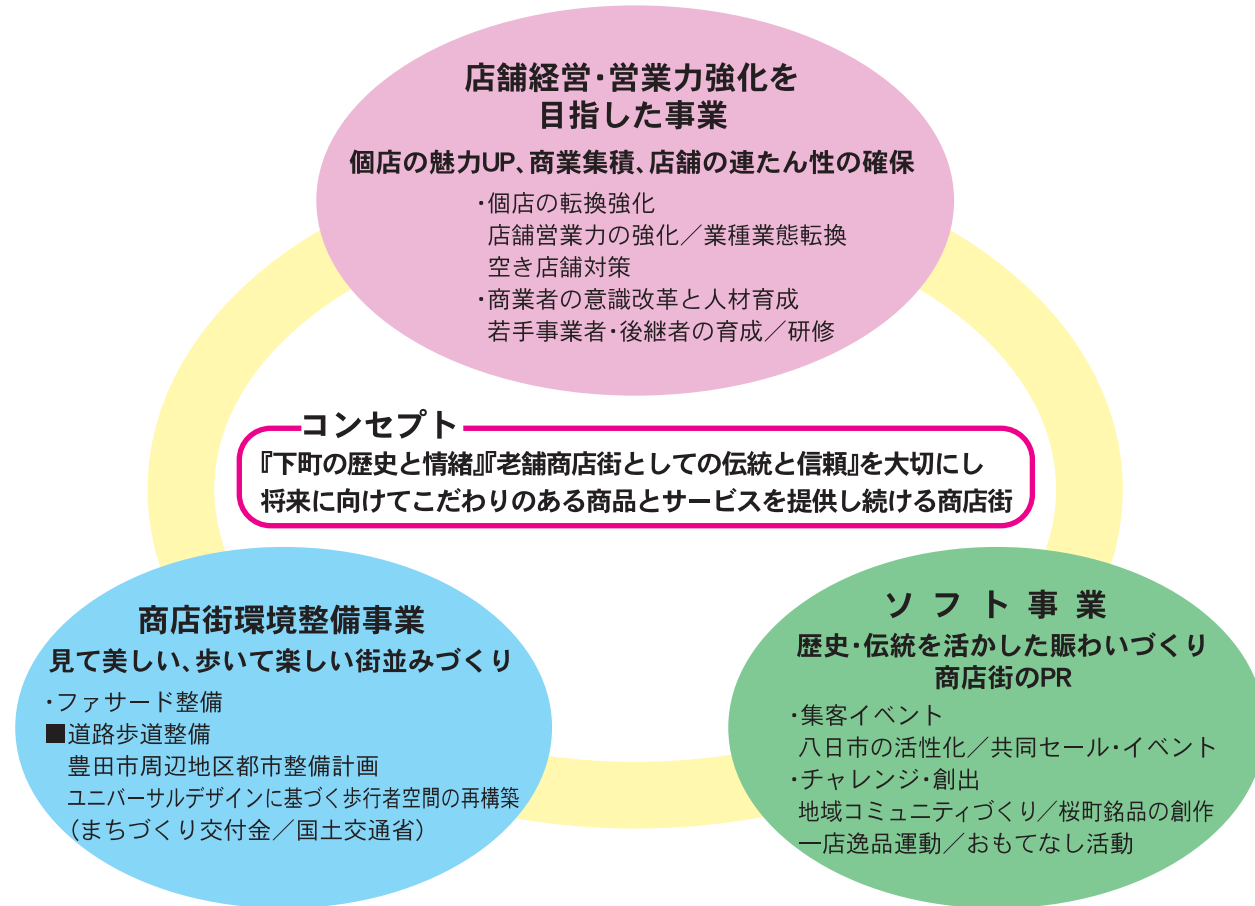
### 平成19年度

- ・大型店テナントミックス実施
- ・モデル店導入等
- ・欠落業態の誘致等。大型店MDプランの将来的な方向性について

# 桜町本通り商店街振興組合活性化事業

## 商店街とTMO共同によるファサード事業

### →『桜町本通り商店街振興組合活性化計画』



### → 商店街活性化事業の推進

TMO法人豊田まちづくり(株)は、商店街との共同事業に対して全面的なバックアップ体制を築いています。また、必要に応じて、官・民のスムーズな連携をサポートします。

#### 「商店街環境整備『ファサード整備』事業の実現」

事業主体:桜町本通り商店街振興組合  
TMO計画(中小小売商業高度化事業計画)法第4条第5項第1号  
中心市街地商店街整備計画認定  
TMO計画は豊田まちづくり(株)と共同で策定

※ファサードについて  
フランス語で「建物の正面」。建物の外観を構成する主要な立面に該当する。

#### ファサード整備事業の考え方

コンセプトに基づいたデザインルールにより、街並みに統一感を持たせる。

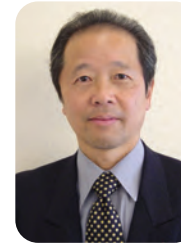
拳母神社の門前町や“桜町”という名前を活かし、「歴史と伝統」「さくら」をモチーフにしました。

外壁統一装飾のピンク色の部分は桜の山なみをイメージ。

- ・店舗前面上部の外壁に統一装飾
- ・統一突き出し看板の設置
- ・バナーによる店舗名の表現

みなさんの声  
ファサード整備  
えとせとら

## 「ファサード(店頭壁面)整備事業を終えて」



桜町本通り商店街振興組合 代表理事  
鈴木 万衛 さん

商店街活性化のハード事業の切り札という認識で望んだこの事業は、商売への取り組み方を見直し、個店の販売力を強化することを目標に掲げ、その達成に向け組合員の団結と意識高揚を図るための統一景観事業として、平成16年度から始まり17年度末に完了しました。今回、道路整備によるバリアフリー化計画も同時進行し、商店街の景観を一新する大きな事業となりました。そもそもファサードって何？ これやるとお客様が来るの？ 儲かるようになるの？ 初めて耳にする誰もが抱く疑問も多くありました。これに対し組合員と貸し店舗オーナーを対象にして、講演会やワークショップを数多く開催し、商売の基本を改めて勉強することになりました。このような意識改革から始まったファサード整備事業は、単なるハード面の整備だけで終わるのではないことを、参加したすべての人に理解していただけたものと思います。ここまで至るには、私たち商店街の限られた者だけでは当然できることではありません。行政、商工会議所、市商店街連盟、そして豊田まちづくり(株)の献身的な支援とノウハウがあったからこそその賜物と深く感謝しています。このTMO体制の枠組みの中でそれぞれの立場で最大限の力を発揮し、「共働」ということばに相応しい見事な連携がなされた事業であったともいえます。私たちの商店街はファサード整備と道路整備の両事業が完了した今、ここでゴールしたのではなく、活性化モデル商店街として個店強化という目標に向けて新たにスタートしたことを真摯に考え、努力を惜しまない活動を続けていきたいと思っています。



### → ファサード整備と同時並行で行った道路整備

特色ある街並みづくりの実現のため、商店街ファサード整備と道路整備(事業主体:豊田市)を一体的に実施しました。

#### まちづくり協議会 桜町ほうだら会による道路整備の考え方

- ・拳母神社の門前町(伝統・歴史)と新しさを表現した「モダンな参道」
- ・散歩が楽しくなる道
- ・歩行者の安全性や快適性を最優先する



# チャレンジショップ TM SEED

新しい創業者の発掘・支援

## → チャレンジショップとは

「いつか自分の店を持ちたい!」という意欲ある“将来の商売人”に、安い賃料の店舗を貸し、一緒に商売のノウハウを積んで行こうというショップ形態。これまでにない個性的な店舗の育成と、豊田市商業の活性化を狙う。

## → コンセプト

- オープンスタイル** いろいろな店舗の集合体。いつ来てもわくわくショッピングができるミニ専門店街スタイル。明るく、入りやすい、くつろげる空間とする。
- オープンエイジ** ヤングマインドを持つ幅広い年齢の方をお客様対象とする。
- 出店ショップ**
- ①独立欲の高いチャレンジャー
  - ②取扱い商品にこだわりを持っている店舗
  - ③豊田市に今までなかった商品展開を持つ店舗
  - ④幅広い客層に対応する商品を取扱う店舗



## → 概要

名称	チャレンジショップ「TM SEED」 「T」=とよた 「M」=まちづくり 「SEED」=種
創立	平成14年11月
場所	豊田市西町(名鉄豊田市駅西口、マクドナルド豊田駅前店南隣)
業種	販売業及びサービス業(飲食業は除く)
店舗形式	改造コンテナ3台設置。コンテナ1台を最大4店舗に区割り。
区画坪数	約1.9坪(間口2.8m×奥行2.4m)
使用料	(1区画)家賃10,000円、水道光熱費10,000円、共益費10,000円
契約期間	原則として1年間(最大1年の延長期間制度あり)
補助金名	空き区画等活用事業
補助金額	15,576千円(国庫補助金・市費補助金 各1/2)

## → サポートシステム

1. 商工会議所・TMOによる店舗運営(店づくり、接客、顧客管理)に関する基本指導
2. 商工会議所による簿記指導、中小企業センターによる経営診断
3. 共同販促(装飾やイベント、雑誌掲載などの広告宣伝等)
4. 出店者のコンサルティング・相談
5. ステップアップ企画(増床や研修など店舗にあわせた独立応援システム)

## → 独立サポート

1. 独立希望店舗のコンサルティング・相談
2. 中小企業センター経営指導員への相談
3. 融資相談・補助
4. 独立先物件探しサポート
5. 独立支援補助金(豊田市)申請



## → 研修カリキュラム

1ヶ月~3ヶ月	4ヶ月~6ヶ月	7ヶ月~9ヶ月	10ヶ月~12ヶ月	1年後
店づくり(商品配置・陳列・ディスプレイ他)	ステップアップ診断	ステップアップ		独立開業
売上管理(月次・日次日報業務・簿記他)		独立準備		
商品管理(商品仕入れ・在庫管理他)		販売促進(POP・イベント企画他)		
顧客管理(顧客ノート・ポイントカード)		接客(応用)		接客(不得意・悩み解決)
接客(基本)				

## → 環境改善

**移動販売車の営業開始とパラソル付きベンチの設置**  
平成17年11月より、敷地内で移動販売車の営業を開始し、平成18年3月、愛地球博で使用されていた、パラソル付きベンチが2台、豊田市により設置された。チャレンジショップ全体の賑やかな雰囲気になり、より多くのお客様に足を運んでいただけるようになった。また各ショップとも、売上・客数共に好調に推移している。



## → 実績と成果 平成18年5月現在

- 事業開始からの出店店舗数/25店舗
- 現在営業店舗数/6店舗
- 独立開業店舗/3店舗
- 退店店舗/16店舗 ※平成18年度内に2店舗が独立開業予定。

## 独立店舗

店舗名：BUGS HOUSE  
開業日：平成18年3月3日(金)  
取扱商品：帽子  
住所：豊田市西町1丁目  
備考：独立時に「49's」から店名変更



店舗名：MOTHER EARTH  
開業日：平成16年5月26日(水)  
取扱商品：古着  
住所：豊田市西町1丁目



店舗名：TOP THE UNDER GROUND  
開業日：平成16年8月20日(金)  
取扱商品：HIP HOPウェア  
住所：豊田市西町2丁目





# 集客プロモーション事業

人で賑わう、出会い交流の場所となるために

## 受託イベント

□キックオフカーニバル  
H17年5月4日(水)～5日(木)  
H17年10月1日(土)



□ふれ愛フェスタ  
H17年5月29日(日)



□唐組紅テント 豊田公演  
H17年6月3日(金)～4日(土)



□豊田市交通安全フェア  
H17年8月19日(金)～21日(日)



□産業フェスタ  
H17年9月10日(土)～11日(日)



□ワールドエコノムープnとよた  
H17年9月10日(土)～11日(日)



□イルミネーションストーリー  
H17年12月3日(土)～28日(水)



□Jマリンバポニーズコンサート  
H18年1月7日(土)



□未来へつなげよう愛・地球博  
H18年3月25日(土)



## ジョイカルウェイブ(音楽を切り口にした若者文化創出の支援事業)

□World Music Connection  
H17年7月31日(日)



□JOYRIDE MUSIC FESTIVAL  
H18年10月9日(日)



□AMBIENT NIGHT CHILL LOUNGE  
H18年3月18日(土)



# まちなか宣伝会議

まちが本気で動きだす。力を合わせて動きだす

## 豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

### ➔ (1) 設立の経緯と目的

豊田市中心市街地において事業を展開する商業施設・商店街・集客施設・行政関係者が、毎月1回意見交換・情報交換をするための任意会議体としてH15.8月設立。各企業・団体の販促・宣伝担当を構成メンバーとし、官民一体となった共同事業を展開している。

- <目的>
- ① 中心市街地への来街促進を図る。
  - ② 中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信・提言する。
  - ③ 中心市街地イベント事業への提言・連携的取組みを模索する。

### ➔ (2) 主な内容

- 3ヶ月単位を目処とした、構成メンバー各位の事業スケジュールの情報交換・情報共有
- 共同事業の企画・実行(集客事業・情報発信事業等)
- 構成メンバー各位の持ち寄り事項の協議・策定

### ➔ (3) 活動実績

- まちなかトピックス (H15.10～)  
共通フォーマットの広告モデル作成→構成メンバー発行の印刷媒体へ相互掲載
- グルメクーポン (H15.11～)  
集客施設の催事期間中に飲食店のサービスクーポンを配布
- とよたまちパワーフェスタ (H16.3～)  
中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信する共同集客イベント ※毎年、春・秋に約1週間開催
- まちなかWEB (H17.9～) <http://www.toyota-machinaka.com/>  
中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信するホームページ(商品・催事の情報発信)
- まちなか情報誌 (H17.9～)  
まちパワーフェスタ開催に併せ、既存の地元情報誌へフェア・セール・トピックスを掲載



### ➔ (4) 構成メンバー (H18.4.1現在)

株式会社松坂屋 豊田店 / T-FACE会 / 豊田まちづくり株式会社 / トヨタ生活協同組合 / 豊田市駅東開発株式会社 / カシマゴビルディング株式会社 / 株式会社豊田スタジアム / トヨタ自動車株式会社 / 名鉄トヨタホテル / ひまわりネットワーク株式会社 / 協同組合豊田商店街連盟 / ヤンチャタウン実行委員会 / 豊田市美術館 / 豊田市コンサートホール・能楽堂 / 豊田商工会議所 / 豊田市近代の産業とくらし発見館 / 豊田市(オブザーバー) / 事務局: 豊田まちづくり株式会社 地域事業部



# 屋外回転広告(AIRS)

## → 事業概要

概要	多くの通行者が行き交うペDESTリアンデッキ上で、目を引く効果的な広告掲出により、情報提供や賑わい創出等中心市街地の活性化事業として展開
特徴	シートが回転し、人目をひきつけインパクトのある広告 最大6シートの広告掲載、広告スペースの有効活用と大量の情報提供が可能 インクジェット出力のスピーディで美しい画面品質
仕様	広告サイズ H1900×W3800 広告掲出数 最大6シート(約20秒で1シート回転)
稼働時間	毎日6:00~24:00
事業開始	平成17年8月1日(月)
設置場所	B館T-FACE 2F南壁面(ペDESTリアンデッキ側)



## → 参考資料

### ■ 周辺の一日のあたりの通行量・平均乗降客数

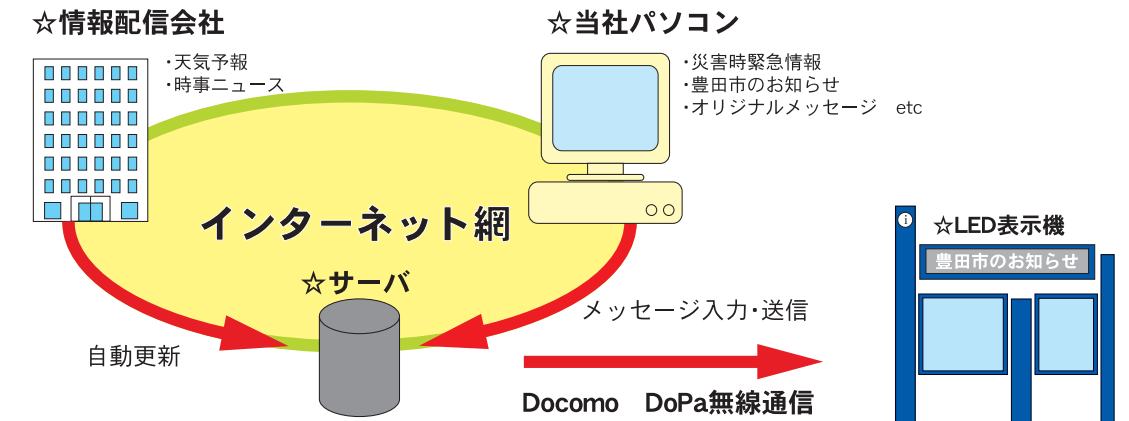
ペDESTリアンデッキ	平日 13,600人	土日 12,100人	※H16通行量調査
豊田市駅(名古屋鉄道)	平均 26,262人		※H16名古屋鉄道調べ
新豊田駅(愛知環状鉄道)	平均 8,424人		※H16愛知環状鉄(株)調べ

# 豊田市総合案内板情報表示装置

## → 豊田市総合案内板情報表示装置とは？

中心市街地に6箇所設置された総合案内板上部にあるLED文字情報表示装置。

## システム概要図



## → 事業概要

事業名	豊田市中心市街地総合案内板情報表示装置管理業務(受託業務)
受託先	豊田市産業部商業観光課
内容	LED文字情報表示装置を使い、来街者や歩行者へ各種の情報提供を図る。
業務期間	平成18年4月1日~平成19年3月31日
運用時間	6:00~23:00
業務内容	公共情報や時事ニュースの他、まちなかイベントなどのオリジナル情報の収集と受付をし、来街者に対して発信する。 (1)オリジナルメッセージの情報収集・受付業務 (2)オリジナルメッセージのスケジュール管理と入力送信業務 (3)装置の動作確認と簡易清掃

# フリーパーキング事業

中心市街地の駐車サービスの一元管理

## ➔ 事業概要

- 目的** 中心市街地への来街促進と駐車場利用者の利便性向上
- 事業開始** 平成15年4月1日
- 事業内容**
- ①中心部の加盟駐車場のシステム統一と加盟店利用(買い物等)による利用者への駐車料金3時間無料サービスの提供
  - ②加盟駐車場、加盟店(店舗・施設)の利用状況等の各種情報の一元管理と駐車場からみた中心市街地活性化策への活用
- 補助金** 経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」 13,757千円  
 豊田市 「豊田中小企業団体等事業費補助金」 68,769千円  
※いずれもシステム導入事業費として交付



## ➔ 事業の仕組み

### 利用者(お客様)

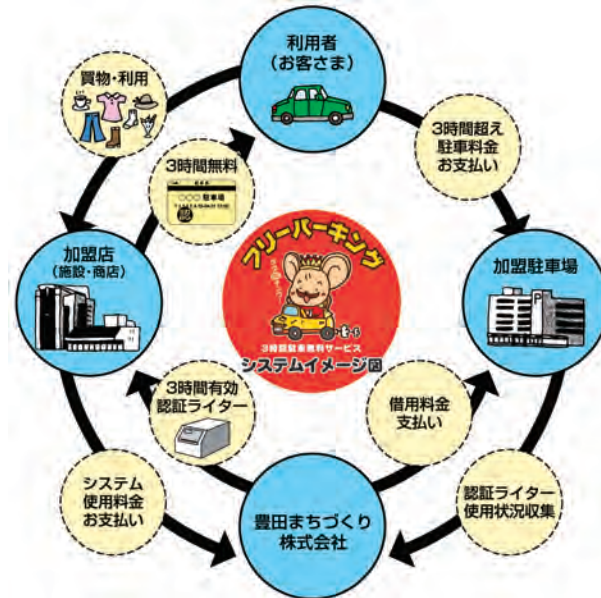
買い物または利用した加盟店(店舗・施設)で駐車券に3時間無料サービスの認証を受け、駐車場を利用(超過分は利用者負担)

### 加盟駐車場

豊田まちづくり(株)と駐車場利用契約を締結、豊田まちづくり(株)は各駐車場事業主に借用料(借上げ料)の支払い

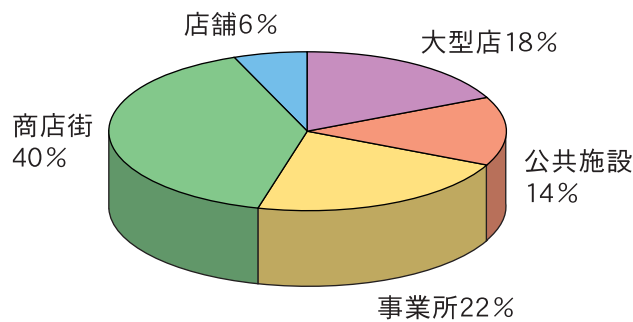
### 加盟店(店舗・施設)

加盟手続き後、豊田まちづくり(株)へシステム利用料の支払いと利用者へ3時間無料サービスの提供



## ➔ 加盟店加入状況(平成18年3月31日現在)

### 【認証ライター配付状況】



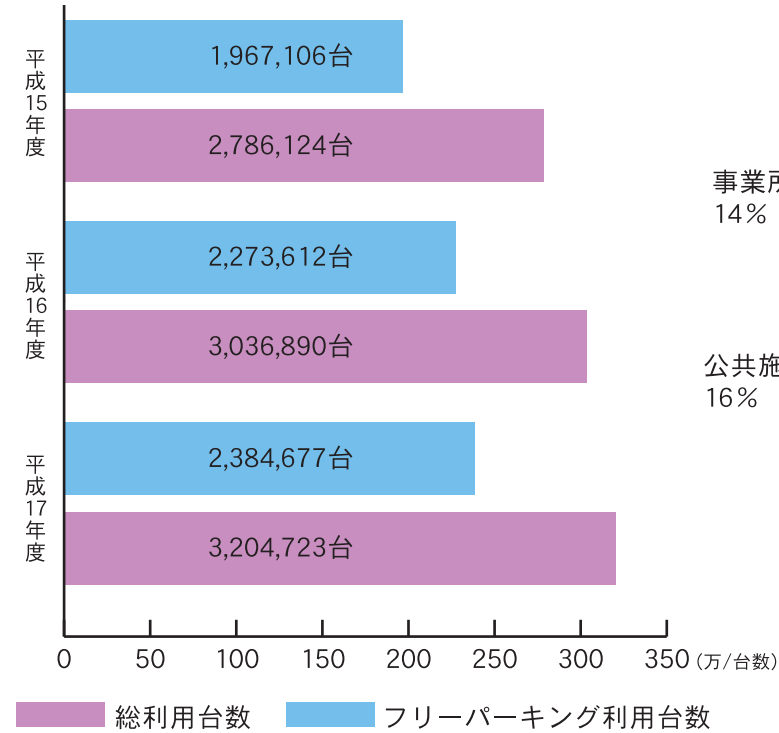
### 【加盟店加入状況の推移】

加盟店分類	平成15年度	平成16年度	平成17年度
大型店	99	103	104
公共施設	43	45	80
事業所	118	129	123
商店街	187	192	228
店舗	39	42	36
合計	486	511	571

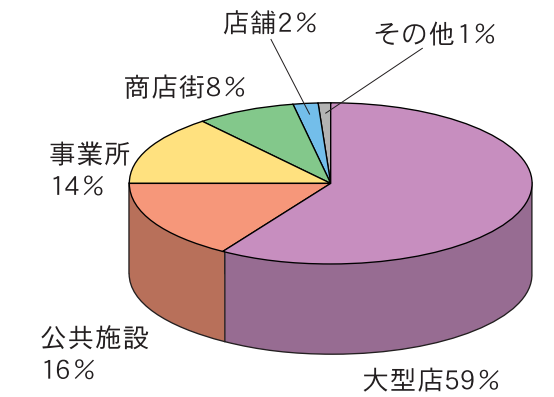
※事業開始から2年間の普及期間を経て、平成17年4月より各加盟店の利用に応じた料金とした。加盟店に負担が大きくなるよう料金割引率を商店街加盟店舗は大きく設定した結果、商店街加盟店舗が大きく増加した。

## ➔ 加盟駐車場利用実績(年間累計)

### 【総利用台数とフリーパーキング利用台数】

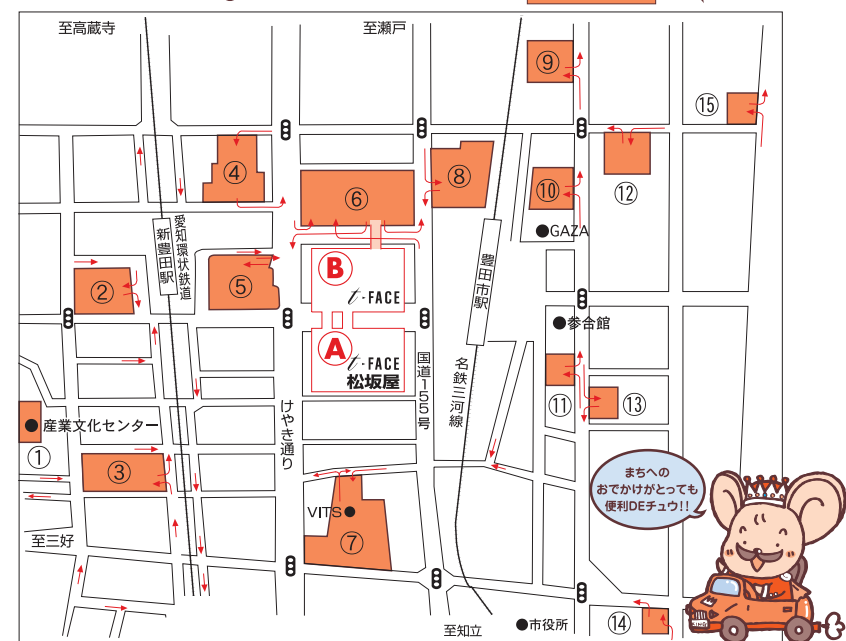


### 【平成17年度フリーパーキング利用内訳】



## ➔ 加盟駐車場

# フリーパーキング 加盟駐車場MAP



### 加盟駐車場15ヶ所 合計4,000台収容

- ①産業文化センター駐車場 280台収容 8:00~22:00
- ②新豊田駅西駐車場 43台収容 24時間営業
- ③第2駐車場 109台収容 7:00~23:00
- ④若宮駐車場 485台収容 7:00~23:00
- ⑤新豊田駅地下駐車場 170台収容 6:00~23:40
- ⑥TM若宮パーキング 412台収容 24時間営業
- ⑦ヴィッツ駐車場 685台収容 24時間営業
- ⑧第1駐車場 314台収容 6:30~25:00
- ⑨昭和町駐車場 221台収容 7:00~23:00
- ⑩ギャザパーキング 225台収容 8:00~24:00
- ⑪豊田参合館駐車場 197台収容 8:00~24:00
- ⑫喜多町駐車場 524台収容 24時間営業
- ⑬西町丸太パーキング 172台収容 24時間営業
- ⑭元城駐車場 100台収容 8:00~22:00
- ⑮児ノ口駐車場 31台収容 8:00~22:00



# TM若宮パーキング

まちなかへの車のアクセスがより便利に

## 駐車場事業

### → 事業概要

**目的** 中心市街地への来街者の利便性を高めるとともに、ペDESTリアンデッキ等との連結によりまちなかを回遊しやすい環境を整え、集客力を高める。また、中心部に位置する24時間営業駐車場として、大型商業施設をはじめ、公共施設・公共交通機関・商店等の利用に際して、これまで以上に各施設へアクセスしやすい環境を整備。

**事業費** 1,434,942千円 経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」  
豊田市 「中小企業団体等事業費補助金」

**事業内容** 駐車場建設、連絡通路及びB館2階T-FACE風除室の新設(既設ペDESTリアンデッキ接続)工事

### → 駐車場概要

**開業日** 平成16年3月20日(土)  
**延床面積** 13,935.87m<sup>2</sup>  
**収容台数** 412台  
**構造** 鉄骨造(FR鋼)地上6階建塔屋1階  
**形式** 自走式連続傾床式立体駐車場  
**施設の特徴**



●幅2.6mの広い車室



●ハートフルエリア



●高速エレベータ



●24h 監視の管理室



### → ご利用案内

**営業時間** 24時間営業・年中無休  
**駐車料金** 30分150円(6:00~24:00)  
30分100円(24:00~翌6:00)  
**サービス** フリーパーキング加盟駐車場  
豊田市共通駐車サービス加盟駐車場  
**車両制限** 車高2.1m・車長5.0m・車幅2.0m未満

### → 事業効果

【利便性の高い、高利用駐車場】

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度
年間総利用台数	10,355台	609,490台	703,909台
月あたり利用台数	—	50,791台	58,659台
日あたり利用台数	941台	1,670台	1,929台
日あたり回転数	2.3	4.1	4.7

※前年比 115%

### 【フリーパーキングとの相乗効果】

駐車場に隣接する、  
2商店街のフリーパーキング加盟店増加  
H15(16店)→H16(23店)→H17(50店)

## DSRC活用駐車場事業

### → 事業概要

平成16年度に豊田市が社会実験で使用した、DSRC(高速道路のETCで使われる専用狭域通信)システム一式を豊田まちなづくり(株)が借受けし平成17年6月より事業展開。

利用はETC車載器のID番号を1台千円で登録(毎年5月更新)。  
登録車が駐車場ゲートに近づくと自動でゲートバーが開閉しフリーパーキング同様に3時間無料サービスを受けられる。

駐車券は不要となるため、精算機への車寄せや、窓から身をのり出す必要もなく、駐車サービススタンプの手間も省けるなど女性や体の不自由な方にも優しいサービスとなっている。

※利用者ご自身が身障者手帳をお持ちの場合は登録無料。

※3時間を超えた駐車料金は、利用者負担。



## 豊田市ITS情報センター「みちなびとよた」 お出かけのお役立ちステーション

### → 事業概要

**概要** 豊田市に住む人、来る人の移動に役立つ、交通・観光・地域情報を、インターネットなど最先端のITS技術を駆使して提供する施設として、豊田市がTM若宮パーキング1階に開設。

※ITS(高度道路交通システム)とは、カーナビなど最先端の情報通信技術により人やクルマの移動を支援するシステム

**事業主体** 豊田市都市整備部交通政策課

**施設運営** 財団法人豊田都市交通研究所

**開所日** 平成16年8月30日(月)

**施設面積** 492.76m<sup>2</sup>

**開館時間** 9:00~19:00

**休館日** 12月29日~1月3日

**情報提供** 経路検索、公共交通情報、バリアフリー情報、駐車場情報、道路交通情報  
観光・イベント情報、TMサテライトスタジオ、トヨタ自動車(株)ITS展示など

**所在地** 豊田市若宮町1丁目1番地 TM若宮ビル1階 TEL (0565)36-0105

(PC)http://michinavitoyota.jp/ (携帯)http://michinavitoyota.jp/mobile/



●外観



●情報端末コーナー



●トヨタ自動車(株) 展示ブース



# 豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業

“モノより心の豊かさを求める”時代へと変化する社会環境を背景に、そこに生活する人々の生活の質の向上に資するまちづくりを目指し、地域住民主体のまちづくりを推進する。

## TMOの役割

- ・住民参加手法の検討
- ・住民参加のコーディネート



## 竹の子村まちづくり協議会

竹生線ならびに周辺整備についての話し合いや勉強会を開催  
住民アンケートを実施、今後も継続していきます。



協議会の様子



挙母小学校でのワークショップ  
「竹生線にあったらいいな」のテーマで話し合いをしてもらいました。



則定線沿線の方にアンケートを実施、要望の高かったフラワーポットの設置を市に提案し、実現しました。



美しいまちの景観づくり～イルミネーション～



あま甚跡地

## 桜町まちづくり協議会(桜町ほうだら会)

### まちづくり part1

第1回 5/28 まちウォッチング

まちを歩いて確認しました。桜城址公園、挙母神社を含む一帯を歩いて観察し、意見をまとめた「まちの点検地図」をつくりました。



### まちづくり part2

第2回 6/15 スケジュールをたてよう

市道中町線・桜町1号線の道づくりについて方向性、考え方をまとめました。

第3回 6/27 道の現状を確認しよう



第4回 7/13 目標・コンセプトづくり

第5回 8/3

第6回 8/22 道のイメージをつくろう



第7回 8/29

第8回 9/12 桜町らしさを考えよう

第9回 9/28

### みんなのイメージ

史跡・緑に囲まれた挙母神社の参道としてのみち  
モダンな雰囲気が漂うみち

### 道路の考え方

- 幅員構成をかえない
- 歩道と車道の段差はできるだけ解消する
- 車のスピードがゆっくりになる道

### 整備後のイメージはどんな雰囲気？

歩いて楽しい 桜町らしい  
話題性がある

第10回 10/24 道路の付帯設備を考えよう

第11回 11/14

第12回 12/7 地域報告会(協議会活動報告)

市主催 1/11 工事説明会

### まちづくり part3…

まちづくりは、これからが本番です！  
住民主体のまちづくり活動へ。





# 多目的広場整備事業

市民が集える場の提供

## → 事業概要

- 目的** 名鉄「豊田市駅」と愛知環状鉄道「新豊田駅」の間に位置するシティプラザを、回遊性を改良し開かれたオープンスペースに改修すると共に、ステージやベンチを設置するなど、各種イベントの開催やオープンカフェとしても利用できる多目的広場として整備。
- 事業費** 43,980千円  
 経済産業省 商業サービス業集積関連施設整備費補助金  
 豊田市 中小企業団体等事業費補助金
- 内容** ①ひまわり時計を撤去し、国道155線からのアクセスを改良  
 ②ペDESTリアンデッキからの階段を末広がり形状に変更  
 ③常設ステージとベンチの設置  
 ④一般照明の設置と、植栽用スポット照明の設置  
 ⑤デザインクリート床による整備
- 竣工** 平成16年8月31日

●整備前



●整備後



## → 事業効果

- (1) 中心市街地の交流拠点(催事実績)
- |        |          |            |
|--------|----------|------------|
| 平成16年度 | 実施: 16催事 | 集客: 6,172人 |
| 平成17年度 | 実施: 24催事 | 集客: 9,072人 |



- (2) 回遊動線の改良と安らぎの空間としての利用増加

# ショッピングカート共同利用事業

まちなかの買物を楽しく便利に

## → 事業概要

平成16年度の豊田市社会実験を経て、歩行者の快適な移動支援を継続的に提供するため、他地域にはないオリジナルカートの導入やまちなか情報提供など新たなサービスと併せ、回遊促進、滞留時間の拡大を目指し、中心市街地の活性化を図る。中心部の大型店が共同で、ショッピングカート共同利用を事業として展開。



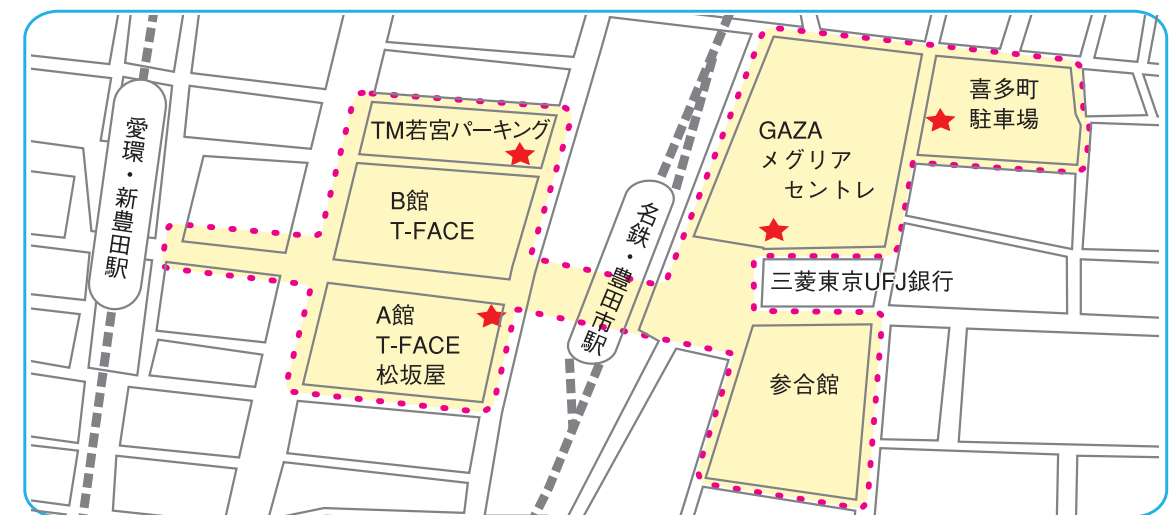
- H17年度** オリジナルカート10台(セルシオ号5台、2000GT号5台)を導入
- 事業内容** 既存のちび丸号10台と合わせて20台で運営  
 まちなかインフォメーション(情報掲示板)を設置
- 事業運営** 平成17年5月 毎日10:00~21:00
- 参加企業** 松坂屋豊田店(株式会社松坂屋)  
 GAZA(豊田市駅東開発株式会社)  
 メグリアセントレ(トヨタ生活協同組合)  
 T-FACE(豊田まちづくり株式会社)  
 ※参加企業の申込は随時受付

**管理運営** 現行の各施設の管理システムと要員を活かし、カート回収、維持管理を行うことで、効率的な管理を推進。  
 豊田市商業活性化推進交付金と参加企業による一部管理費負担にて運営。



●カート(2000GT号)

## → 事業エリア



★ デポ



# まちなかレンタルサイクル

豊田のまちを自転車で走ろう

## 事業概要

- 目的** ●商店間の買い回りの推進を主目的とした中心市街地の利便性の向上
- 内容** ●パーク＆ライドの推進、車に代わる交通手段としての役割を担う貸し自転車事業
- 事業主体** ヤンチャタウン実行委員会  
※中心市街地の9つの商店街が連携し、情報発信等の継続的なソフト事業を展開し商業活性化を図る任意団体
- 役割** ●事業全体の運営管理…ヤンチャタウン実行委員会  
●拠点管理運営…チャレンジショップ内「自転車修理工房こんどう」、若宮駐輪場  
●後援・協力…愛知県商店街振興組合連合会、豊田商工会議所、豊田市  
●事業企画…豊田まちづくり(株)

## 自転車貸出しステーション

- TM若宮パーキング  
利用時間9:00～18:00／年中無休／5台設置
- 自転車修理工房こんどう(チャレンジショップ内)  
利用時間11:00～18:00／火曜日定休／10台設置

## 事業経過

**利用状況**  
平成17年4月～平成18年3月末 延べ 610件

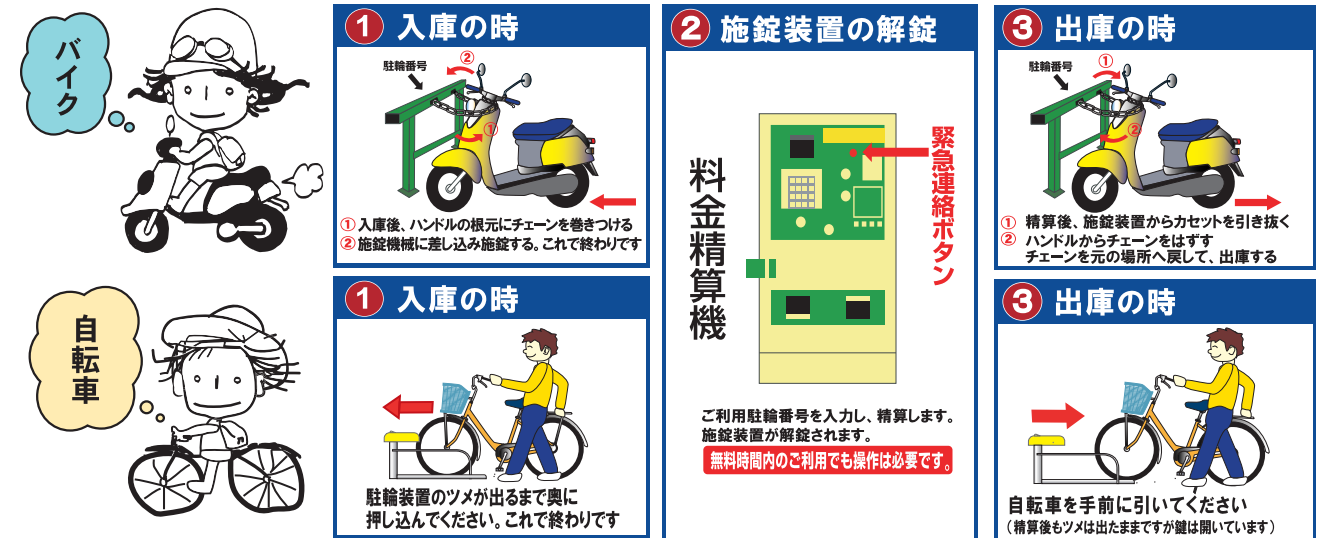


# 有料駐輪場事業

駐輪問題への取り組み

## 事業概要

- 導入経緯** 相次ぐ自転車・オートバイの盗難や放置自転車対策として、安心・安全・快適に利用できる駐輪場の整備を目的に、全国的に実績のある「街の駐輪問題を解決するシステム」エコステーション21を導入
- 事業開始** 平成18年4月1日
- 設置場所** T-FACE・松坂屋豊田店ビルの外周
- 駐輪場名称** エコステーション21豊田駅西
- 営業時間** 24時間・年中無休
- 事業内容** エコステーション21の管理・運営者  
日本コンピュータ・ダイナミクス(株)(=NCD/本社:東京都品川区)が駐輪機器等を設置。管理・運営と共に有料駐輪場を事業展開。
- 設置台数** 550台(自転車350台・バイク73台・その他127台)
- 利用方法** T-FACE・松坂屋豊田店の買い物客に限らず、誰でも利用できる駐輪場  
最初の3時間は無料。その後12時間ごとに自転車は100円、バイクは200円。



**管理・運営** 日本コンピュータ・ダイナミクス(株)(=NCD)  
**対応** 問合せ:サポートセンターでの24時間対応(遠隔操作問合せ対応)  
人的対応:現場対応が必要な場合、地元警備会社が現場へ急行  
利用者を待たせることなく全国各地の駐輪場管理・運営を一元管理

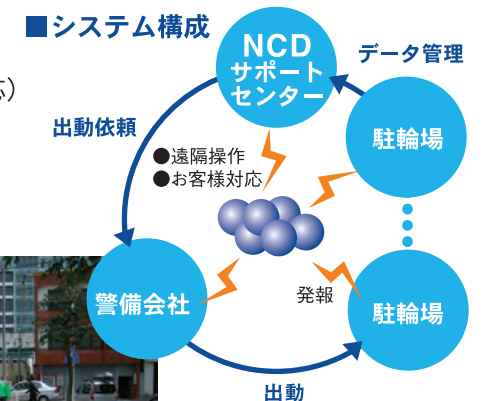
※長期駐輪車両の対応(撤去)も実施



●設置前(歩道にはみ出し駐輪されている)



●設置後(歩道が確保されるようになった)





# 豊田市商業振興条例

豊田市商業振興条例を制定し、4月1日に施行しました。今後、条例をよりどころとして各種施策を積極的に展開し、豊田市の商業を活性化し、魅力あるまちづくりを目指します。

## → 豊かな市民生活に役立てます

そごう、サティの相次ぐ撤退による中心市街地の空洞化を防ぐため、豊田市中心市街地緊急活性化計画に基づく各種事業を行ってきました。

その結果、大型商業施設の空き店舗はなくなり、中心市街地への来街者は増加傾向にあります。

今後は、合併により拡大した市全域の商業地にも目を向け、がんばる商店街への支援集中を図り、買物の利便性を高めるとともに、商店街の持つ防犯などのコミュニティ機能を維持し、豊かな市民生活に役立てます。

## → より効果の高い事業を支援していきます

条例に基づき、豊田市商業振興委員会を設置します。

委員会では、より効果的な活性化事業を行うため、支援制度の対象となる事業の認定、評価を行うほか、商業環境の変化に対応するため、制度の検討、改廃を常時行なっていきます。

## → 新しい支援制度により商業活性化を推進します

条例により、商業活性化推進交付金、商業・サービス機能誘致奨励金の2つの新しい制度を創設しました。

### ①商業活性化推進交付金

商工会議所、商工会、市等の出資法人が商業地活性化のため計画的に行うソフト事業について、事業費の80%を上限に支援を行ないます。

これまでの支援制度は、市があらかじめ支援の対象や内容を定めてきました。

新たに制度化した商業活性化推進交付金は、事業者が提案する事業を市が採択するという方式を採用することにより、全市一律の支援を脱して、地域の実情に応じたユニークなアイデアを支援し、事業者のやる気を喚起していきます。

### ②商業・サービス機能誘致奨励金

中心市街地及び地域商業地において核となる施設を誘致し、計画的にまちづくりを進めていく必要が発生した場合、消費者及び地域住民のニーズを踏まえ、商業機能等配置実行計画を策定します。

この計画に定められた業種で1,000㎡以上の規模である事業者が進出した場合に、固定資産税、都市計画税、事業所税相当の奨励金を支出し、核施設の進出を促進します。

## 【目標】

## 【施策分野】

商業の活性化による魅力あるまちづくりの推進

### 商店街等の活性化

1 商店街活性化計画策定支援事業 **拡充**  
現状分析を踏まえ、意欲的に活性化事業に取り組む商店街の計画策定を支援(8/10補助・上限100万円)

2 商店街ファサード整備等支援事業 **新規**  
商店街活性化計画に基づいて行うファサード(統一的な外壁・シャッター等)整備を支援(4/10~6/10補助)

3 商店街街路灯整備等緊急支援事業 **拡充**  
商店街のコミュニティ・防犯機能を維持するため、3年以内に整備する街路灯の緊急支援(8/10補助・限度額有り)

4 経営革新モデル店舗支援事業 **新規**  
商店街活性化計画に基づいて、経営革新・業態転換を行う個店の改装費支援(1/2補助・上限250万円)

### 個店の転換強化

5 経営革新・創業支援無利子融資事業 **新規**  
商店街活性化計画に基づいて、経営革新・新規創業を行う個店が利用する制度融資の利子補給(10/10補助・運転、設備)

6 繁盛店創出支援事業 **新規**  
商店街エリアにおいて、繁盛店を目指す個店をコンペによって選定、トータルプロデュース(改装費、経営指導等の支援)

7 商業・サービス機能誘致奨励事業 **新規**  
商店街活性化計画策定地域に1,000㎡以上の床を取得して進出する事業者を支援(固定資産税等の1/2相当の奨励金、5年)

### 不足業種・業態の誘致

8 空き店舗活用支援事業 **拡充**  
商店街活性化計画に基づいて、空き店舗に不足業種等を誘致する商業団体等への改装費・家賃支援(1/2補助・限度額有り)

9 コミュニティビジネス支援事業 **新規**  
商店街エリアにおけるコミュニティビジネスの創業、業態転換を総合的にサポート(改装費、家賃、経営指導等の支援)

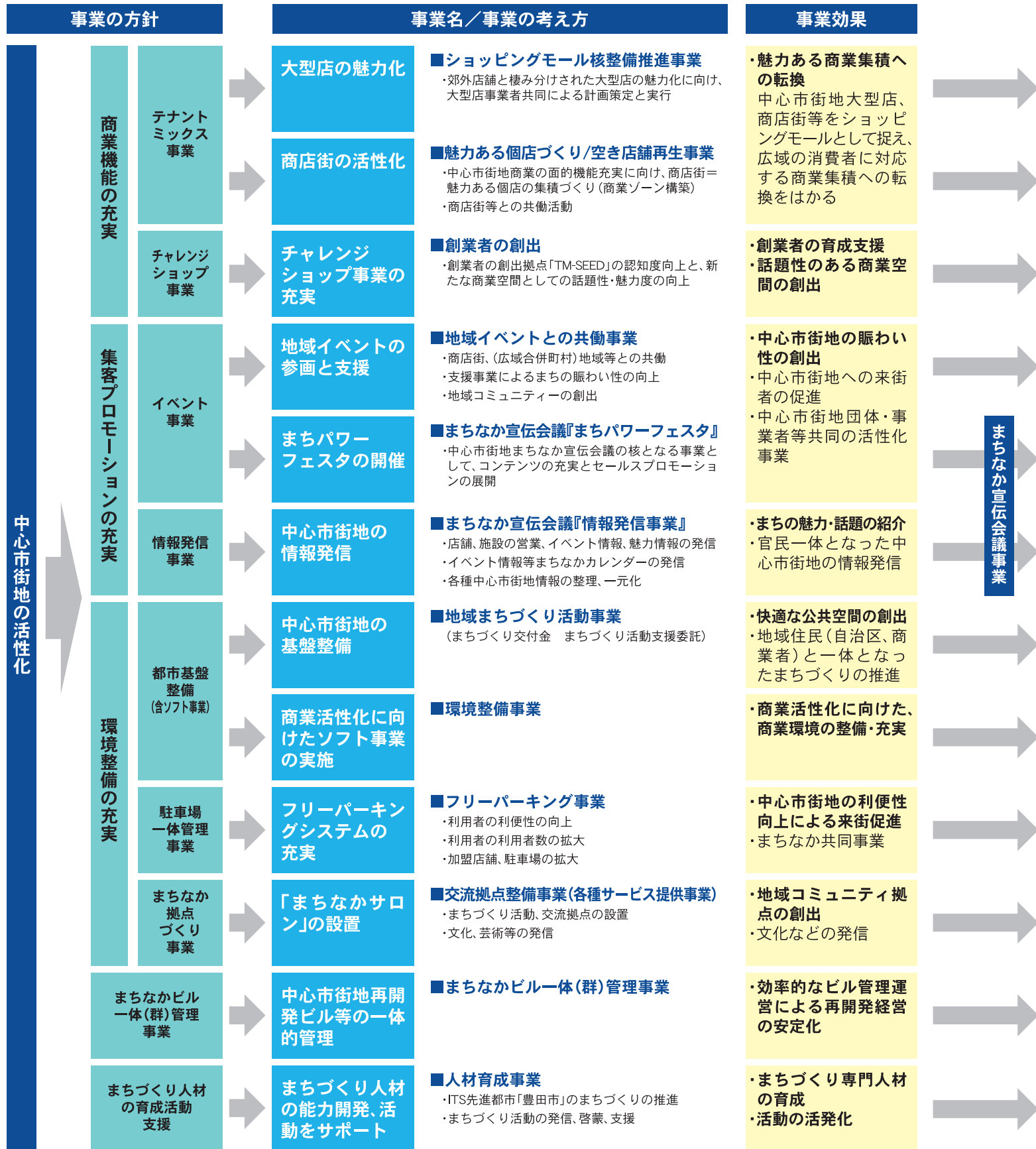
10 商業活性化推進交付金 **新規**  
商工会議所、商工会、出資法人が商業地活性化のため計画的に行うソフト事業を総合的に支援(8/10充当率)

### 活性化体制の強化

11 商工会議所活性化支援事業 **新規**  
地域産業の振興・育成指導機関である商工会議所の活動基盤となる拠点施設の整備支援(8/10補助、限度額あり)

12 事業評価制度・支援認定機関の設置 **新規**  
事業評価に基づく施策の改廃検討、個店支援策等を第三者機関として公正に審査する商業振興委員会の設置

# 商業活性化推進交付金による事業の数々(TMO提案)



## 1. 商業活性化推進交付金とは

豊田市は、商業の自立的な取り組みを支援するために商業振興条例を施行し、そのなかで「事業者の創意工夫による総合的かつ機動的な活性化事業を支援することにより商業の活性化に資する目的」で商業活性化推進交付金事業を設定した。

## 2. TMOの商業活性化推進交付金事業(3ヵ年計画)の基本方針

広域の市民が交流する、中心市街地を一つのショッピングモールとして捉え、  
・商業機能の充実による小売商業活性化  
・中心市街地の魅力の発信に向けた集客プロモーションの充実  
・快適な都市空間の創出、商業活性化に向けた環境整備への支援・参画を柱に事業を展開する。





# 豊田市都市整備事業

## → 平成15年度事業(総事業費 約390,000千円)

**概要** 豊田市中心市街地緊急活性化計画に基づき、歩行者の回遊性確保のため駅西口と同様に駅東口へも雨よけシェルター及びエスカレータを設置し、より使いやすい歩行者空間の構築を目指す。

**内容** ペDESTリアンデッキ整備事業



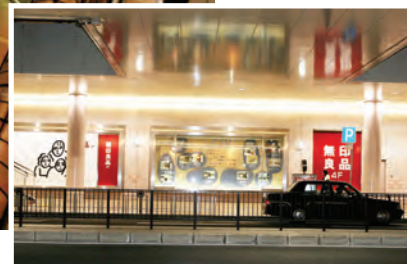
## → 平成16年度事業(総事業費 約300,000千円)

### 【豊田市駅周辺地区 まちづくり交付金事業】

豊田市が、国の都市再生事業の支援策であるまちづくり交付金制度(平成16年度から平成20年度の間)を活用し中心市街地の整備を実施。

**概要** ユニバーサルデザインにより歩行者空間の再構築を行い、安全・安心・快適なまちづくりを推進することにより活性化を図る。また誰もが安心して快適に活動できる都市空間を、都市の景観に配慮し地域と共働して整備するため、ワークショップの開催や社会実験の実施、市民団体の活動支援等を実施する。

- 内容** 豊田市駅周辺サイン整備事業(経済産業省補助金)
- 駅西ペDESTリアンデッキ照明設備事業
  - 駅西ペDESTリアンデッキ新豊田駅夜間景観整備事業
  - 緑陰歩道リニューアル事業(駅西広場チャレンジショップ周辺部)
  - 新豊田駅前広場リニューアル事業
  - 花のあるまちづくり事業
  - イルミネーション事業
  - ショッピングカート共同利用事業
  - まちづくり活動支援事業



## → 平成17年度事業(総事業費 約340,000千円)

駅西ペDESTリアンデッキシェルター整備事業  
駅西ペDESTリアンデッキ設備工事





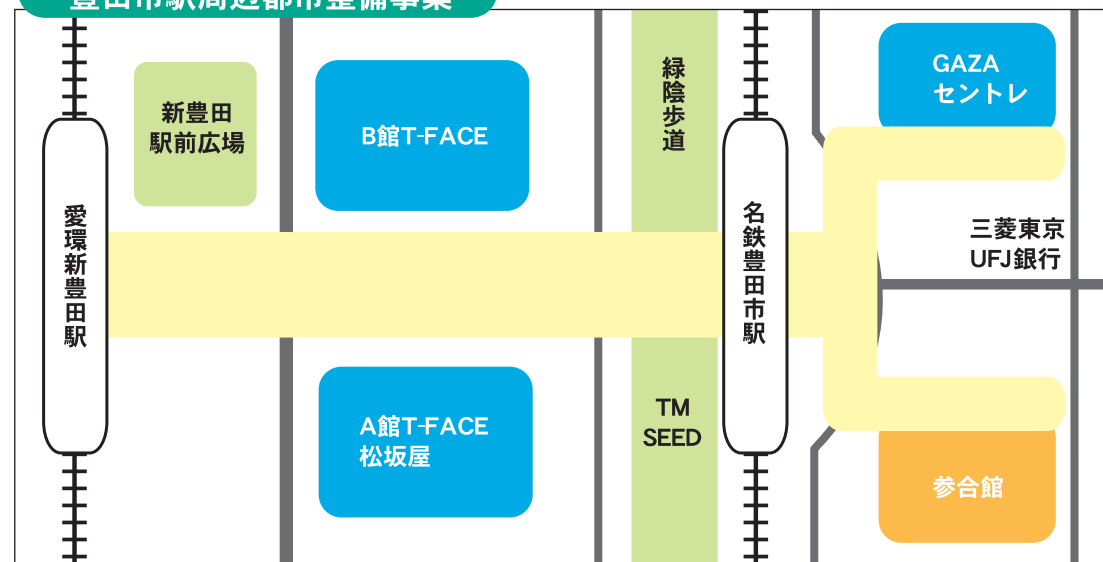
平成17年度 駅西ペDESTロリアンデッキシェルター整備事業



平成16年度 新豊田駅前広場リニューアル事業



豊田市駅周辺都市整備事業



平成15年度 ペDESTロリアンデッキ整備事業



平成16年度 駅西ペDESTロリアンデッキ照明設備事業



平成16年度 豊田市駅周辺サイン整備事業



平成16年度 緑陰歩道リニューアル事業





# 豊田市中心市街地におけるグランドデザイン提言

平成17年10月20日、豊田商工会議所正副会頭等首脳部が豊田市役所を訪れ、市長・助役を始め関係部長に「交通モデル都市」と豊田らしさを感じる中心市街地の将来像について、会議所内で2年がかりの討議を踏まえとりまとめた「豊田市中心市街地のグランドデザイン(構想)」の提言を行った。

本提言では“コンパクトでにぎわいのあるまちづくり”を指向し、中心市街地は人々の生活や娯楽や交流の場であるべきであり「豊田市の活力や個性を代表する顔」として、今後も経済発展や豊かな生活の実現に大切な役割を果たす重要な場所であり続けるために、魅力的かつ個性的な豊田市の「顔」に相応しく望ましい姿を具体的に示している。

商工会議所では現在、策定に向け議論が進む「豊田市の第7次総合計画」への反映を目指し活動を強化しています。主な提言内容は右頁の通り。

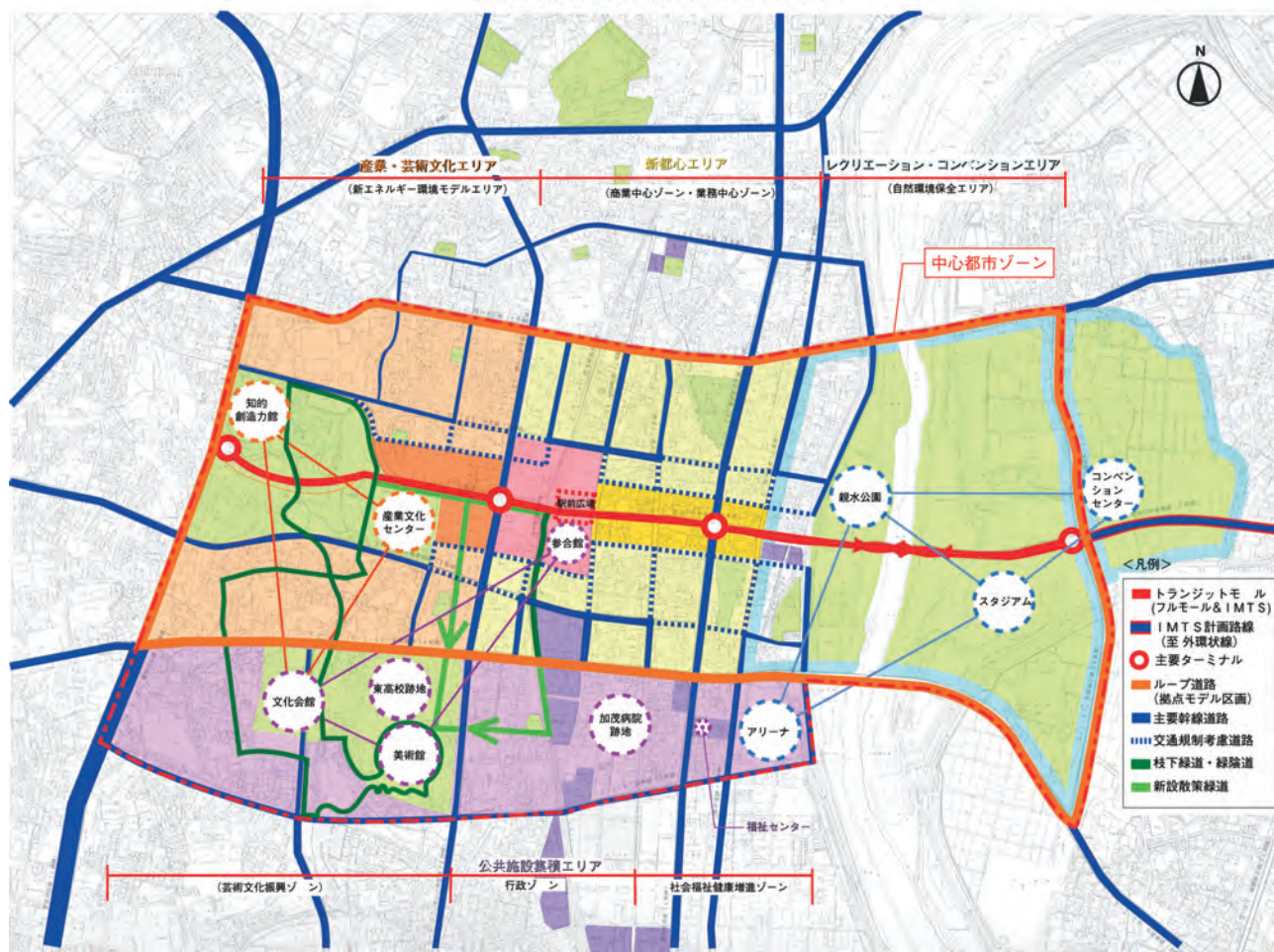


●渡辺会頭(左)から鈴木市長(右)へ提言書を提出



●提出後の意見交換会の様子

豊田市中心市街地グランドマスタープラン



## 中心市街地再生のための具体的な提言

### ➔ 基本方針

- 土地の複合用途利用や、自動車依存から公共交通利用への転換を目指したコンパクトシティの実現
- 「緑の文化環境軸」を骨格と位置付け、鉄道駅で分断されている東西市街地の連携の強化

### ➔ 中心都市ゾーンにおけるゾーニング計画

- 「未来型トランジットモール」を軸とした新都心エリアの形成
  - ・IMTSを導入した、フルモール化のトランジットモールを整備
  - ・モール沿いの商業・業務ゾーンの活性化と、都市型複合住宅の整備(低層部は商業等)
- 「産業振興策25プラン・既存文化施設」を軸とした産業・芸術文化エリアの形成
  - ・大学・企業の研究部門誘致による産学連携したアカデミックゾーンを創出・整備
- 「自然を生かしたリバーフロント開発」
  - ・スタジアム周辺を集客力のあるレクリエーション・コンベンションゾーンに整備
- 「既存公共施設・全体公園化整備」を軸とした公共施設集積エリアの形成
  - ・市民が親しめる開かれた公共ゾーンとして、回遊性を高める交通アクセスを整備

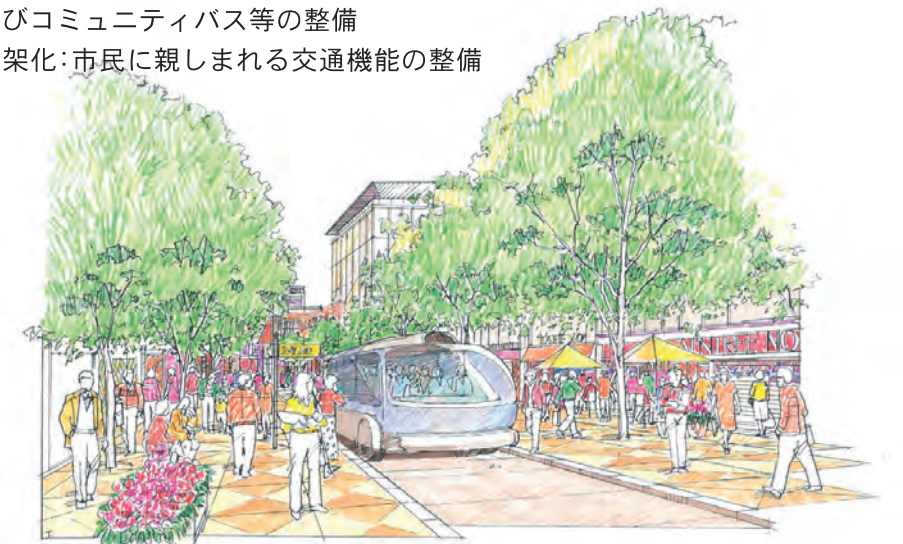
## 広域交通に関する提言

### ➔ 基本方針

- 自動車交通に依存した生活から、公共交通機関を利用した生活パターンへの脱却を図る

### ➔ 広域交通計画

- 市民の足となる利便性の高い新交通(IMTS)の導入
  - 前期: 毘森公園～外環状線までとし、中心部は新交通(IMTS)の運行により一般車両の通行を規制したフルトランジットモールの実現
  - 後期: トヨタ町を経由する環状線としての整備
- パークアンドライド駐車場およびコミュニティバス等の整備
- 愛環鉄道、名鉄三河線の複線・高架化: 市民に親しまれる交通機能の整備





# 豊田商工会議所会館

豊田商工会議所は新会館建設を新たな出発点とし、産業の振興や地域の活性化への取組を加速させるとともに「コミュニティ」としてのまちの魅力を高め安全・安心なまちづくりに努める。

会員の皆さんから喜ばれ、市民から「顔の見える会議所」、「活力ある親しみやすい会議所づくり」を目指し、諸事業を強力に推進する。

## → 18年度の重点事業

1. “交通モデル都市”豊田市の「第7次総合計画」への提言活動
2. がんばる豊田の産業振興策の推進
3. 会員サービス活動の更なる拡充
4. 生活・産業基盤の道路インフラ整備促進

## 待望の新会館 平成18年4月オープン



商工会議所の役割を認識し、特に中小企業とりわけ小規模事業者の皆様の支援体制や経済情報の提供を主眼に、ワンストップサービス体制を充実し、「情報」「人(会員)」「空間」「交流」等の拠点として18年4月に新会館をオープン。

## → 新会館のコンセプト

### 「Dream Exchanges 想いの交流」

会員、地域住民、行政、それぞれが持つ「思い」。その思いの実現に向け、歩み続ける方々をサポートし、仲間を見つけ、「思い」の実現に近付けるための「想いの交流」を目指す。



**情報ステーション** 商工会議所に集まる様々な情報を会議所の内外に効果的に発信する機能を付加し情報の活用を促す。

**交流ステーション** 常設展示場に、地域住民の方が気軽に来館し楽しめる要素を付加し、企業と民との積極的な交流を促す。

**空間ステーション** 多目的ホールを活用し、地域活性化や産業振興、街づくりに役立つイベントを実施。

**人ステーション** 企業の人材育成や自己研鑽の場など「人」にまつわる情報を発信すると共に“集いの場”として活用。

### 豊田商工会議所

所在地 〒471-8506  
豊田市小坂本町1-25  
(豊田産業文化センター南)  
代表 TEL 0565-32-4567  
FAX 0565-32-1000  
ホームページ <http://www.toyota.or.jp>  
Eメール [info@toyota.or.jp](mailto:info@toyota.or.jp)

# 豊田市駅前通り南地区市街地再開発事業

## → 事業の目的・方針

多機能複合型施設の導入による新たな交流核の形成を目指し、昼夜間人口の拡大による中心市街地の活性化と、交通環境及び都市防災機能の向上等による市街地の整備改善を一体的に図る。

- 都市の賑わいと活力をもたらす新たな都市機能の導入
- 市民生活を充実させる時間消費の場の創出
- シティホテルと事務所を核としたビジネス関連の交流活性化
- 都心ならではの魅力を享受できる住宅・居住環境の形成
- 都心におけるシンボリックで個性的な空間の創出
- 都心を安心して楽しく回遊できる移動空間の形成
- 都心にアクセスしやすい交通システムの整備(周辺道路整備、駐車場の確保)



「コモ・スクエア」(COMO Square)完成予想図

## → 事業の概要

街区の東側に住宅・商業棟(E棟)、西側に商業・業務・ホテル棟(W棟)を配置。

	棟	施設の概要	延べ床面積(m <sup>2</sup> )
W棟	店舗・スポーツ施設棟(1~4階)	●専門店・飲食店等(1・2階) ●プール、フィットネス等(3・4階)	5,400
	事務所・ホテル棟(1~12階)	●事務所 賃貸オフィス等(3~7階) ●シティホテル(1・2・8~12階)	19,900
	地下駐車場・駐輪場(地下1・2階)	●駐車場 185台(地下1・2階) ●駐輪場 279台(地下1階)	9,500
E棟	店舗・事務所・駐車場棟(1~5階)	●専門店・飲食店等(1・2階) ●住宅用駐車場 180台(3~5階)	8,000
	住宅棟(1~19階)	●分譲マンション 138戸	14,900
	地下駐車場(地下1階)	●駐車場 65台	2,500
面積合計			60,200

## → 事業完了

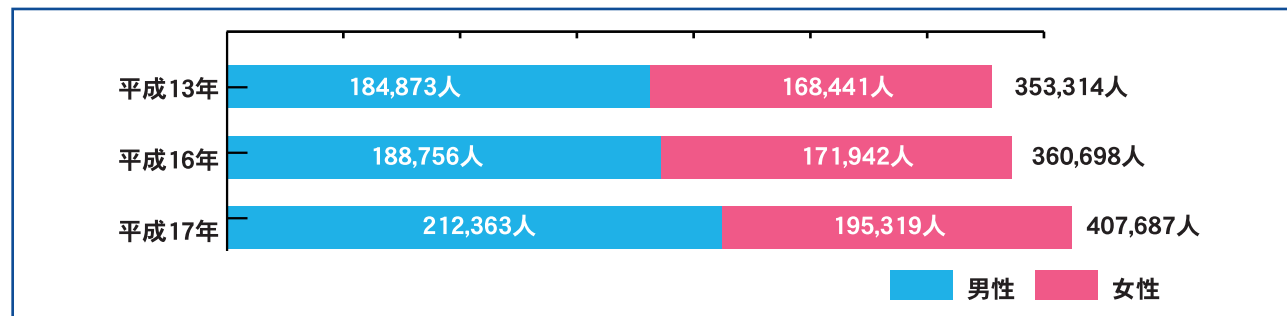
平成20年度



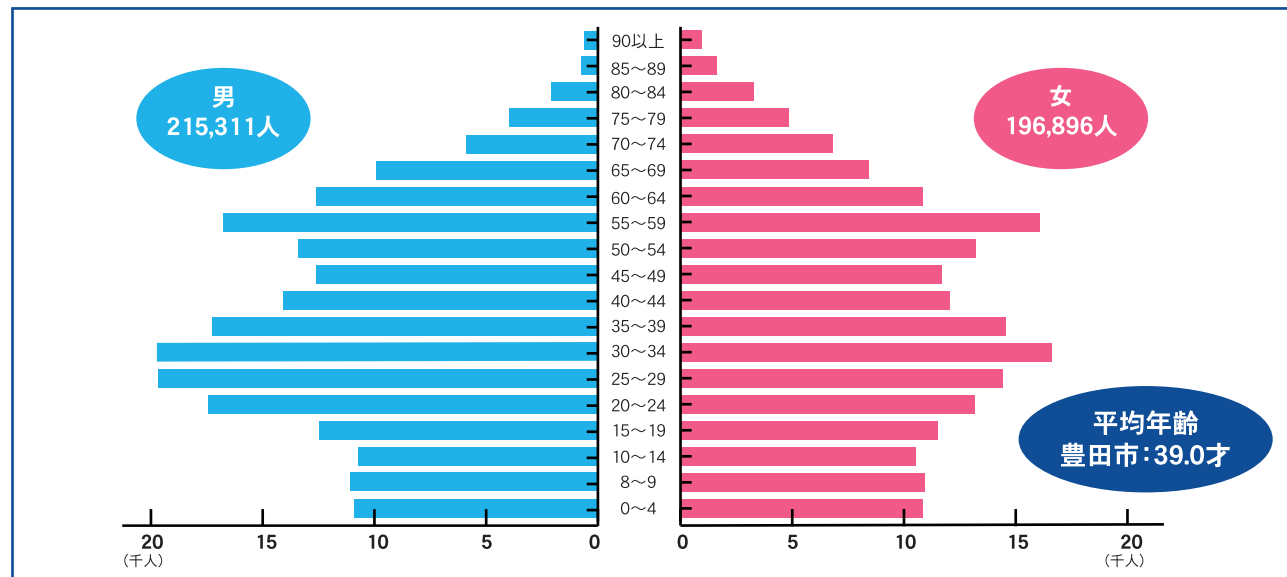
# 豊田市データ

## 豊田市の人口推移・構成・雇用について

### 人口の推移 (出典:豊田市統計書2005年)



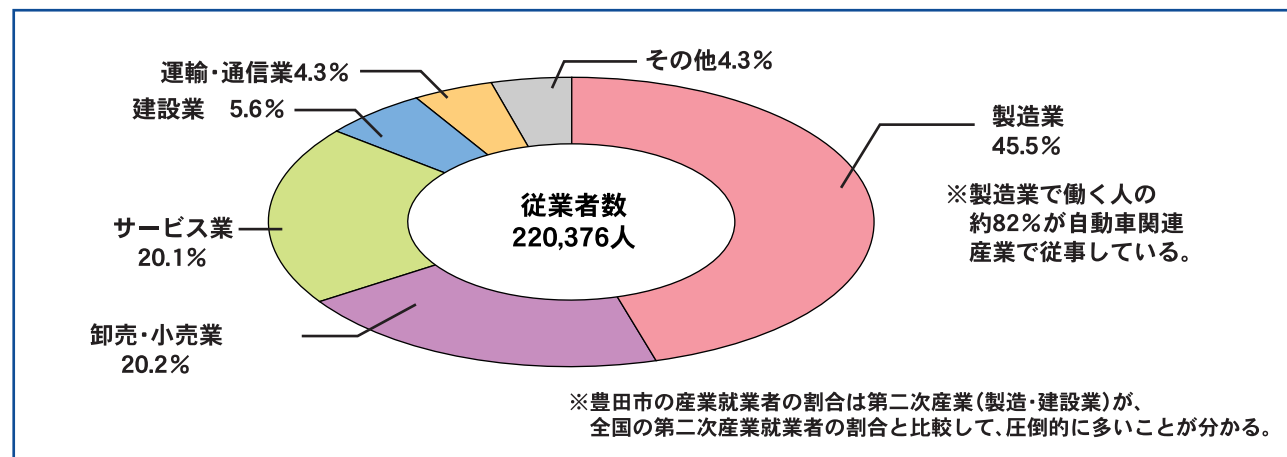
### 年齢別・男女別人口 (出典:豊田市統計書2006年)



※年齢別人口は、45～54才の団塊世代とそのジュニア25～34才中心の構成である。

＜市町村別平均年齢＞ 愛知県:41.2才 名古屋市:42.1才 豊橋市:41.2才 岡崎市:39.9才

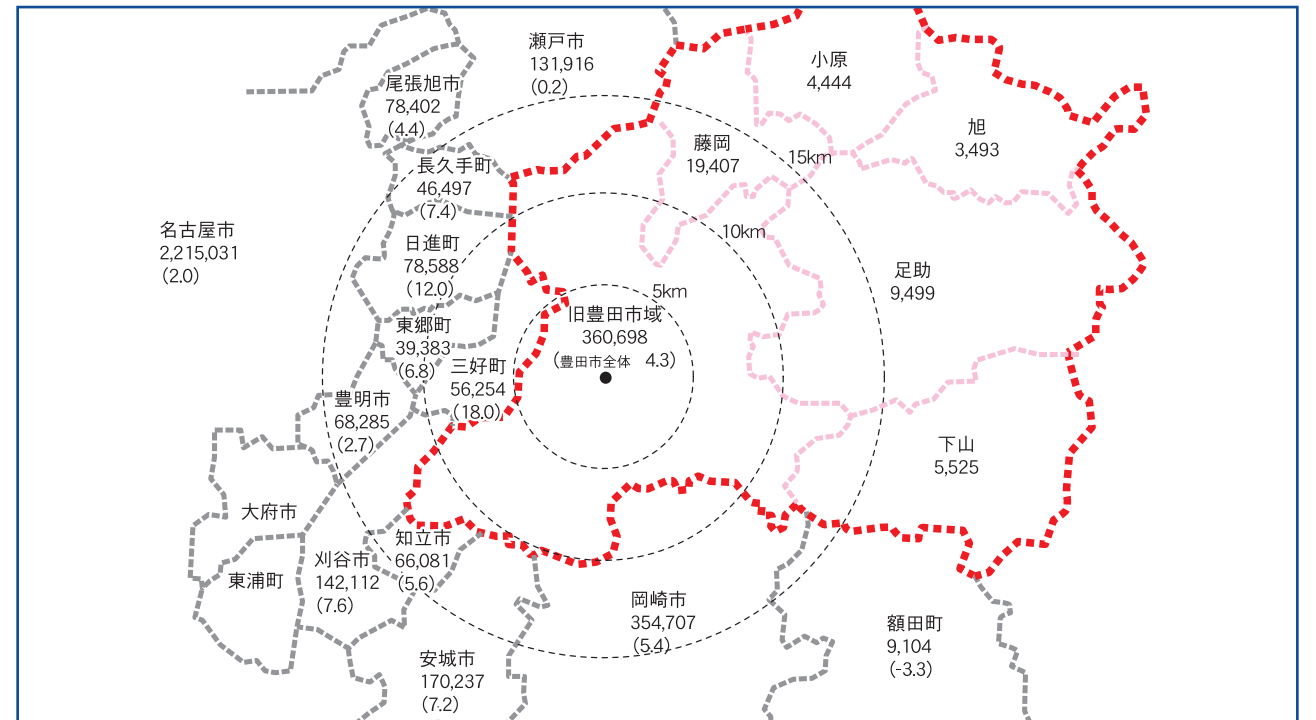
### 産業大分類別就業者数構成比 (出典:市勢ガイド)



## 豊田市中心市街地からみた商圏の設定

2005年 現在

単位:人、( )内数字は人口増加率(2000年比)



※平成17年4月に合併し、愛知県で名古屋市に次いで2番目の都市となった。  
※面積は918.5km<sup>2</sup>と約3倍となったが、人口のほとんどが旧豊田市域の居住者である。

範囲	豊田市中心	旧豊田市域	三好町	東郷町	日進町	岡崎市一部
＜5km圏内(車で10分以内)＞	22.0万人	-	-	-	-	-
＜10km圏内(車で20分以内)＞	-	36.0万人	5.6万人	3.9万人	7.9万人	5万人

合計 58.4万人  
(5年間伸長率 7.0%)

### 豊田市の昼間人口・夜間人口の推移 (平成12年国勢調査)

区分	平成2年			平成7年			平成12年		
	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者
昼間人口	331,768	174,576	...	340,876	185,434	...	350,847	189,313	54,109
夜間人口	347,379	190,668	...	356,583	199,632	...	375,298	211,391	56,482

### 愛知県主要都市との比較 (平成17年愛知県統計調査)

	人口(人)	人口2000年比(%)	世帯数(世帯)	1世帯あたり人員(人)	1人あたり所得(千円)
豊田市	412,529	+4.3	155,215	2.75	5,692
名古屋市	2,215,378	+2.0	956,369	2.32	3,284
豊橋市	372,758	+2.1	133,669	2.79	3,080
岡崎市	364,818	+5.4	132,060	2.76	3,638

# 交通アクセス

## <特徴>

名古屋都市圏に隣接する豊田市は、西三河地域の中において豊田・加茂地区の中核都市として独立商圏を形成している。

## → 公共交通機関

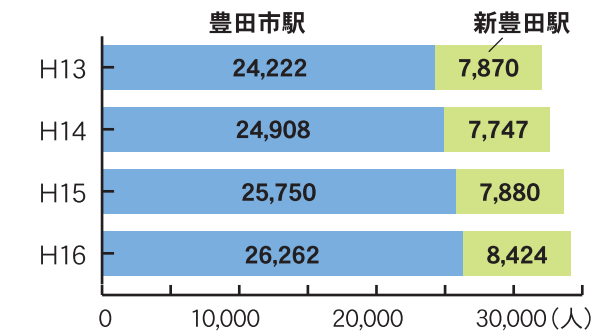
2005年 現在



## <近隣からのアクセス>

<b>名古屋鉄道</b>			
名古屋	⇒⇒⇒	豊田市駅	50分 790円
知立	⇒⇒⇒	豊田市駅	20分 390円
<b>愛知環状鉄道</b>			
岡崎	⇒⇒⇒	新豊田駅	30分 430円
瀬戸市	⇒⇒⇒	新豊田駅	30分 490円

## <1日の平均乗降客数(名鉄豊田市駅・愛知環状鉄道新豊田駅)>



※特に朝夕の通勤ラッシュ時は2つの駅をつなぐペDESTリアンデッキの往来が多くなる。

- 名鉄線の2線は都市間交通手段として利用されている。特にベッドタウン化による利用者の増加により運行本数の増加、始発・最終電車の延長サービスが図られている。
- 愛知環状線は市内に13駅ある。2005年愛知万博開催に伴い、八草駅と藤が丘をつなぐ東部丘陵線(リニモ)が開通し、乗降客が増加した。今後、複線計画もあり、さらなる利便性の向上と乗降客数の増加が期待できる。

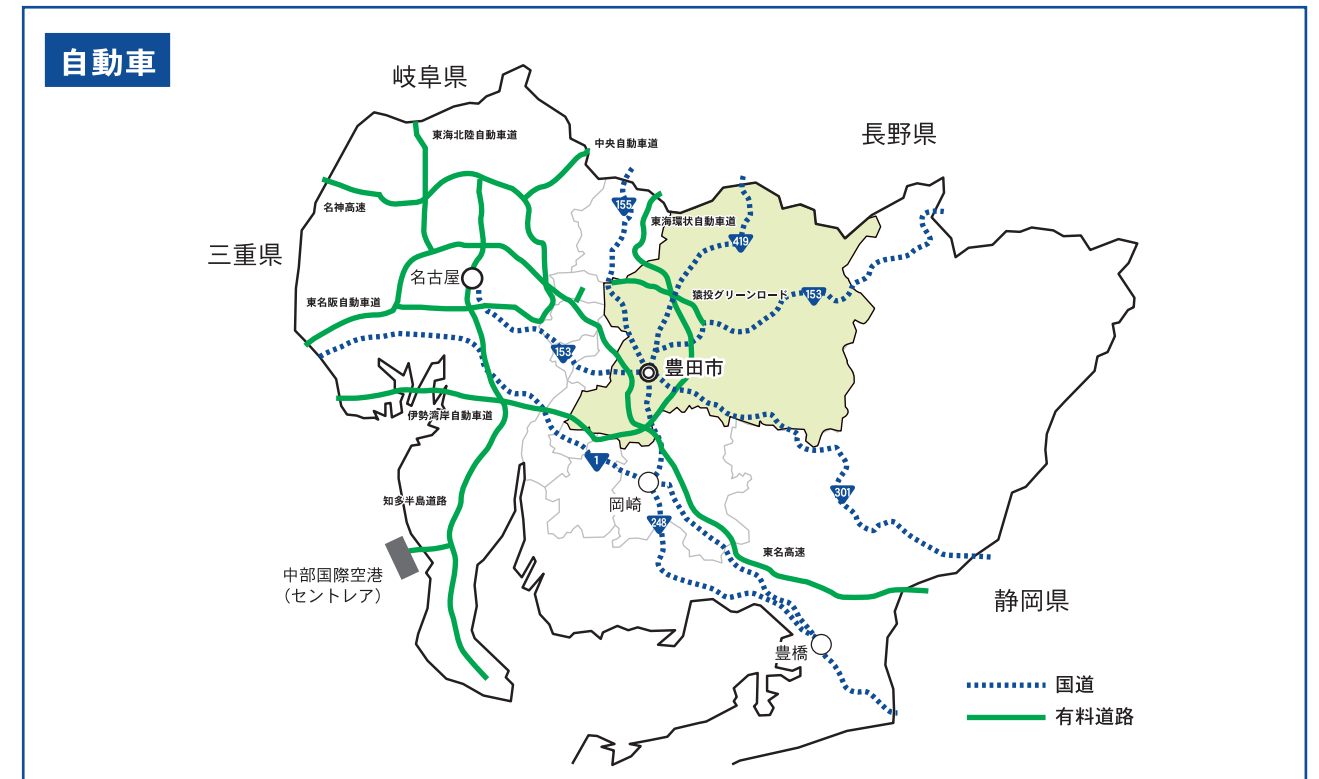
## → 道路交通

### バス

- 名鉄バスが、豊田市駅の東西ターミナルより発着し、中心市街地から周辺部へ運行している。1日約5,000人の人が豊田市郊外の交通手段として利用している。
- 朝夕の交通渋滞緩和のため、通勤時間帯に豊田市駅東西ターミナルからトヨタ自動車本社・工場へのシャトルバスが発着している。1日約2,200名に利用されている。(実験)
- 中心市街地の循環バスや、地元住民組織によるバスの運行など少し利便性は向上しつつあるが、本数の少なさ、バス停までの利便性の悪さなどの課題がある。

2005年 現在

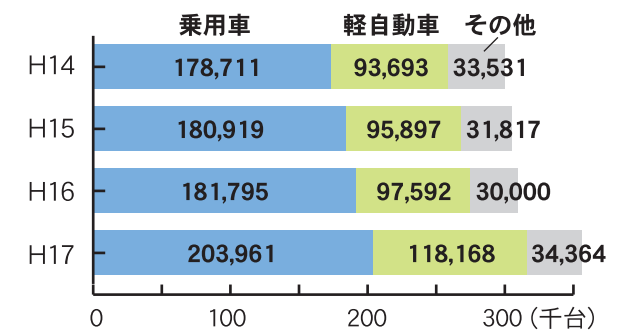
### 自動車



## <近隣からのアクセス>

名古屋	⇒⇒⇒	豊田	60分 29km
豊橋	⇒⇒⇒	豊田	100分 47km
岡崎	⇒⇒⇒	豊田	40分 17km

## <自動車登録台数の推移>



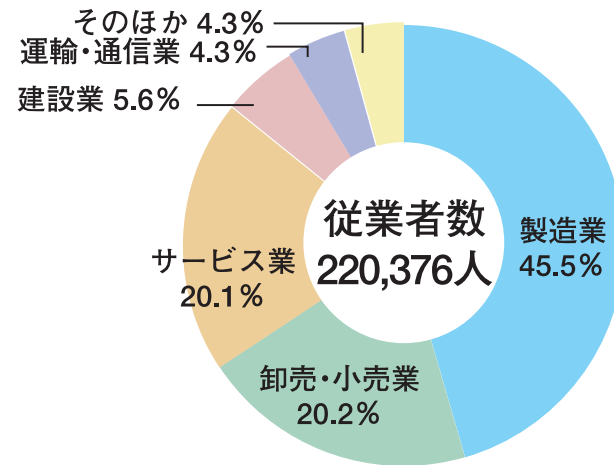
豊田市1世帯当たり乗用車保有率は169%と高く、車型社会が発展している。(愛知県平均116.6%)  
乗用車登録台数数は平成17年には203,961と20万台に到達した。



# 豊田市の産業

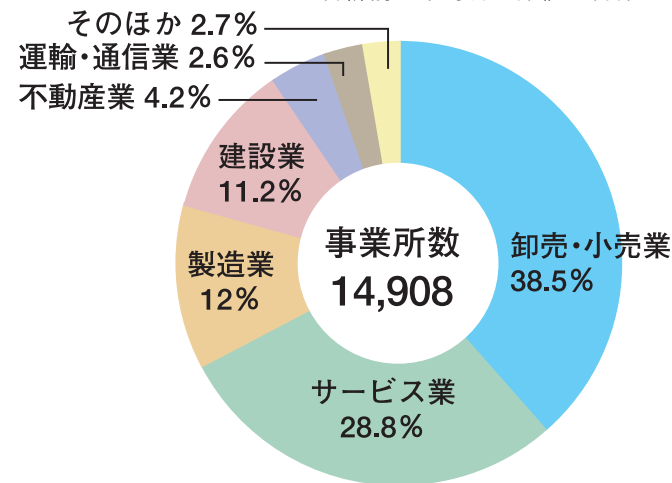
## 産業大分類別従業者数構成比

(平成13年10月1日現在・事業所統計調査)[民営事業所]  
※合併前7市町村の数値を合算



## 産業大分類別事業所数構成比

(平成13年10月1日現在・事業所統計調査)[民営事業所]  
※合併前7市町村の数値を合算



## 商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

※各年の「あいちの商業(商業統計調査結果報告書)」より、合併前7市町村の数値を合算

年次	商店数	従業者数(人)	年間商品販売額(万円)
平成3年	3,791	22,773	166,119,211
6	3,644	25,994	148,901,293
9	3,594	25,161	168,313,448
11	3,498	27,682	146,878,061
14	3,221	27,467	152,131,202

## 工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

※各年の「あいちの工業(工業統計調査結果報告書)」より、合併前7市町村の数値を合算

年次	工場数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
平成11年	1,169	93,042	809,066,995
12	1,152	93,265	855,553,782
13	1,123	93,648	915,074,403
14	1,078	93,728	984,663,652
15	1,056	96,773	963,098,640

# 豊田市の財政

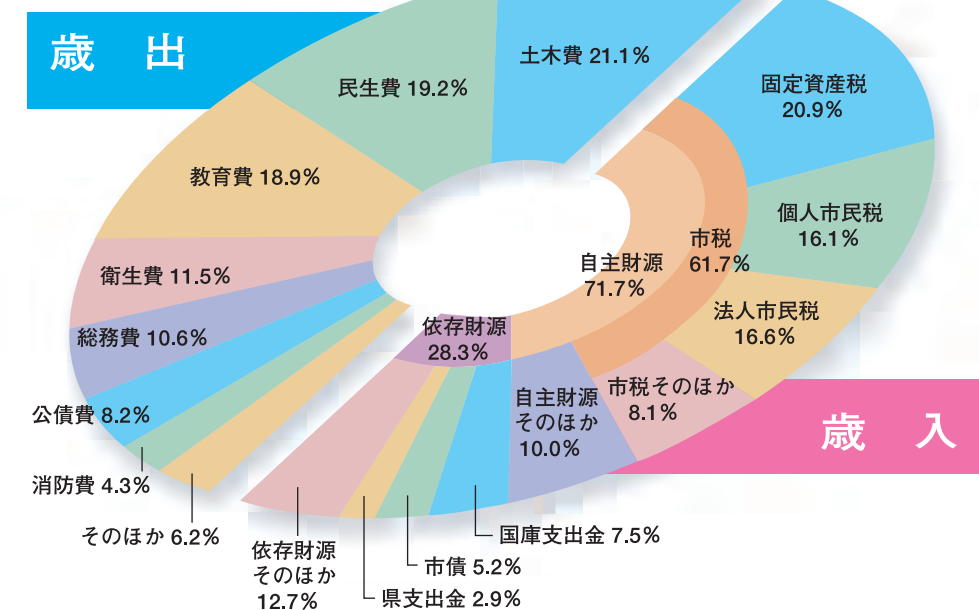
●平成17年度当初予算

総額

2,472億3,183万円

一般会計

1,543億2,000万円



特別会計

762億9,784万円

国民健康保険	257億2,844万円
食肉センター	1億8,082万円
土地区画整理	1億3,918万円
梅坪東	17億120万円
土橋	
分譲住宅建設	3,782万円
公共下水道	133億8,501万円
卸売市場	2億7,718万円
老人保健	202億5,814万円
農業集落排水	3億9,871万円
水道水源保全	4,354万円
母子寡婦福祉	3,234万円
介護保険	120億1,382万円
財産区	359万円
盛岡	921万円
賀茂	
簡易水道	20億8,884万円

財政力指数全国順位

※合併前の旧豊田市のみの数値

財政力指数とは、地方公共団体が標準的に収入しうると考えられる地方税などの収入額を、妥当かつ合理的な平均水準で行政を行った場合に要する財政需要額で割って得た数値で、1を超えるほど財政に余裕があります。

全国順位	平成12年度	13	14	15
1	1.44 成田	1.52 成田	1.80 武蔵野	1.82 豊田
2	1.44 武蔵野	1.49 武蔵野	1.66 豊田	1.80 碧南
3	1.38 豊田	1.48 豊田	1.62 成田	1.73 浦安
4	1.33 浦安	1.37 刈谷	1.59 碧南	1.63 成田
5	1.30 碧南	1.35 浦安	1.47 厚木	1.51 刈谷

県内平均	0.93(31市)	0.97(31市)	1.00(31市)	1.03(31市)
全国平均	0.65(671市)	0.67(672市)	0.68(675市)	0.77(677市)

※数値は当初算定によるもの。全国平均は、大都市、中核市および都市の平均であり、特別区は含まない。県内、全国の数値は、平成12年度から14年度までは単純平均で、平成15年度は基準財政収入額の総和/基準財政需要額の総和で算出

企業会計(水道事業会計) 166億1,399万円

収益的	収入 95億6,584万円	支出 91億1,891万円
資本的	収入 19億7,918万円	支出 74億9,508万円

※予算額は収益的支出予算と資本的支出予算を合算したもの

# 周辺商業施設概要

豊田市及び近郊は、人口の著しい増加や、15～64才の生産年齢人口比率が全国平均より高いことなどを理由に、優良マーケットと考えられている。そのため中小店と大型店、中心部と郊外、並びに業態を超えた競合が激化することが推測される。

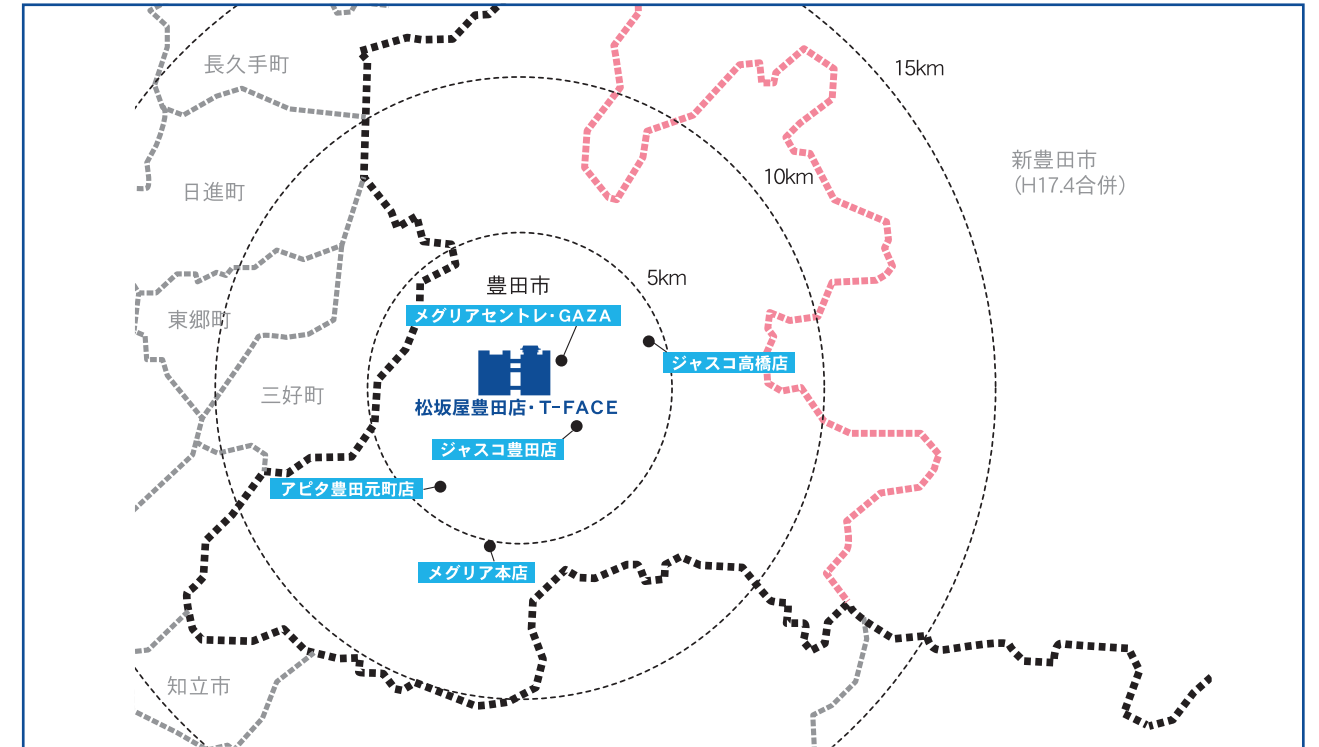
商圏内(半径5km)直接競合店	<b>メグリアセントレ・GAZA</b> CSC/豊田市喜多町/売り場面積約15,000㎡/駐車場1,544台 ヤングファミリーターゲット。1階食料品、2階には「コムサイズム」「ハッシュアッシュ」「ランドランド」などが出店。3階には、「ユニクロ」「くまざわ書店」「すがきや」などが出店。駅前立地かつ駐車場隣接と利便性が高く、足元商圏を獲得している。
	<b>ジャスコ豊田店</b> GMS/豊田市広路町/売り場面積11,711㎡/駐車場2,000台 ニューミッシーからミセスをターゲットにしたGMS。食品売場を中心にデイリー性の高い店舗を志向するとともに、施設面においては隣接地に広大な駐車スペースを有し、商圏特性である車社会への対応が図られている。
	<b>ジャスコ高橋店</b> GMS/豊田市東山町/売り場面積7,969㎡/駐車場2,300台 豊田市東部の郊外の住宅地に立地するGMS。また豊田店と同様に隣接に広大な2棟の駐車スペースを有している。商品構成は住宅地という立地からデイリー性の高い品揃えであり、商圏顧客のライフスタイルに溶け込んでいる。
	<b>メグリア本店</b> 生協/豊田市山之手/売り場面積13,013㎡ トヨタ自動車系の企業生協であることから、商圏顧客からのロイヤリティが高い。商品構成はファッション、リビング、食料品ともエコノミーからボリュームのデイリーな商品を中心に展開。とりわけ、食料品が強く賑わいがある。ジャスコと同様、店舗地下・隣接地に広大な駐車場がある。
	<b>アピタ豊田元町店</b> GMS/豊田市土橋町/売り場面積7,583㎡/駐車場1,050台 H17.6にリニューアルオープンをし、駐車場には「スターバックス」「マクドナルド」のドライブスルーが設置され、「ラフォックス」も隣接している。豊田インターに近く三好町からのアクセスも便利。

商圏内(半径15km)	<b>名古屋三越星ヶ丘</b> 百貨店/名古屋千種区/売り場面積21,178㎡/駐車場1,000台
	<b>ギャラリエアピタ知立</b> GMS/知立市長篠町/売り場面積29,527㎡/駐車場3,000台
	<b>松坂屋岡崎店</b> 百貨店/岡崎市康生通西/売り場面積12,230㎡/駐車場1,570台
	<b>ザ・モール安城</b> SC/安城市大東町/売り場面積13,411㎡/駐車場1,500台
	<b>アイ・モール三好</b> 平成11年10月OPEN/SC/西加茂郡三好町/店舗面積44,600㎡
	<b>イオン岡崎ショッピングセンター(西武・ジャスコ)</b> 平成12年9月OPEN/百貨店・GMS/ジャスコ岡崎南店/店舗面積75,285㎡
	<b>グランパルクアピタ長久手</b> 平成12年9月OPEN/GMS/愛知郡長久手町/店舗面積30,000㎡
	<b>イオン東浦ショッピングセンター</b> 平成13年7月OPEN/GMS/東浦町/店舗面積45,512㎡/駐車場4,000台
<b>アピタ岡崎北</b> 平成14年7月OPEN/GMS/岡崎市日名北町/店舗面積19,849㎡/駐車場1,800台	

## 位置図

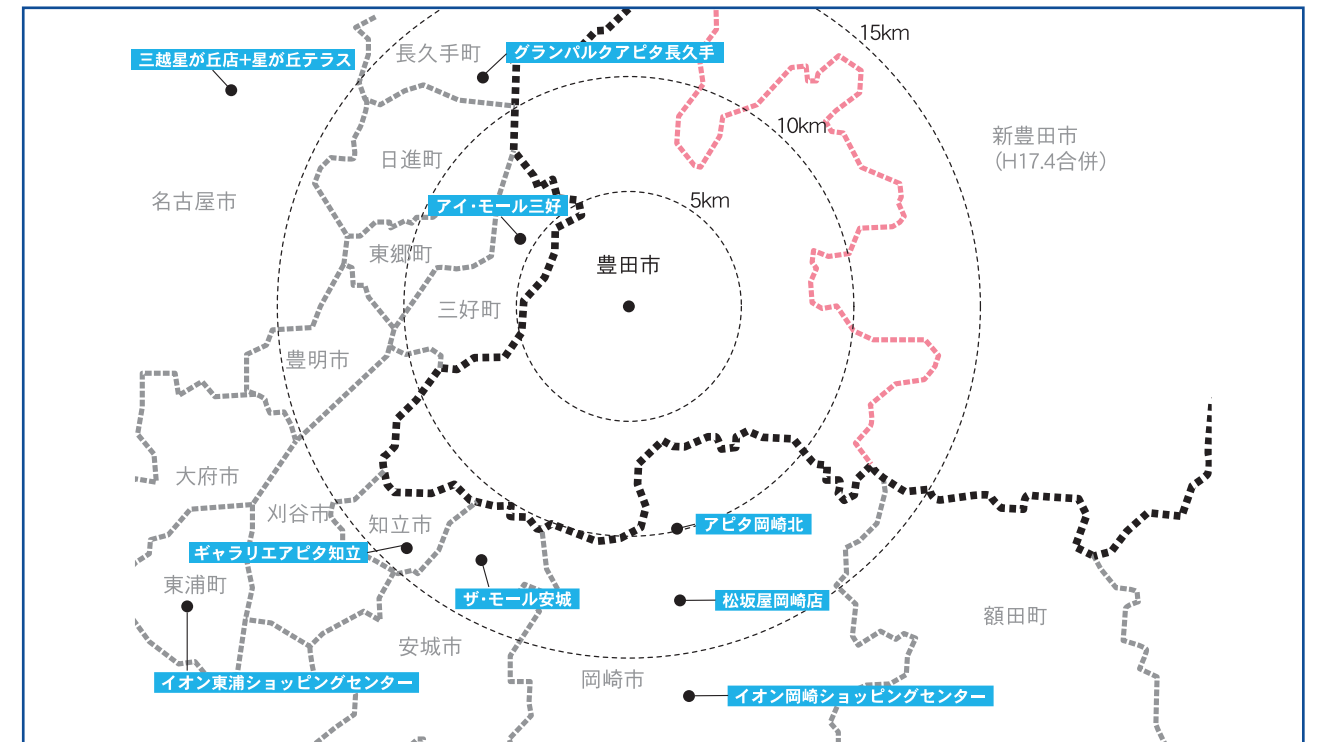
### → 豊田市内商業施設

2005年 現在



### → 広域商圏での大型商業施設(半径約15km圏内)

2005年 現在



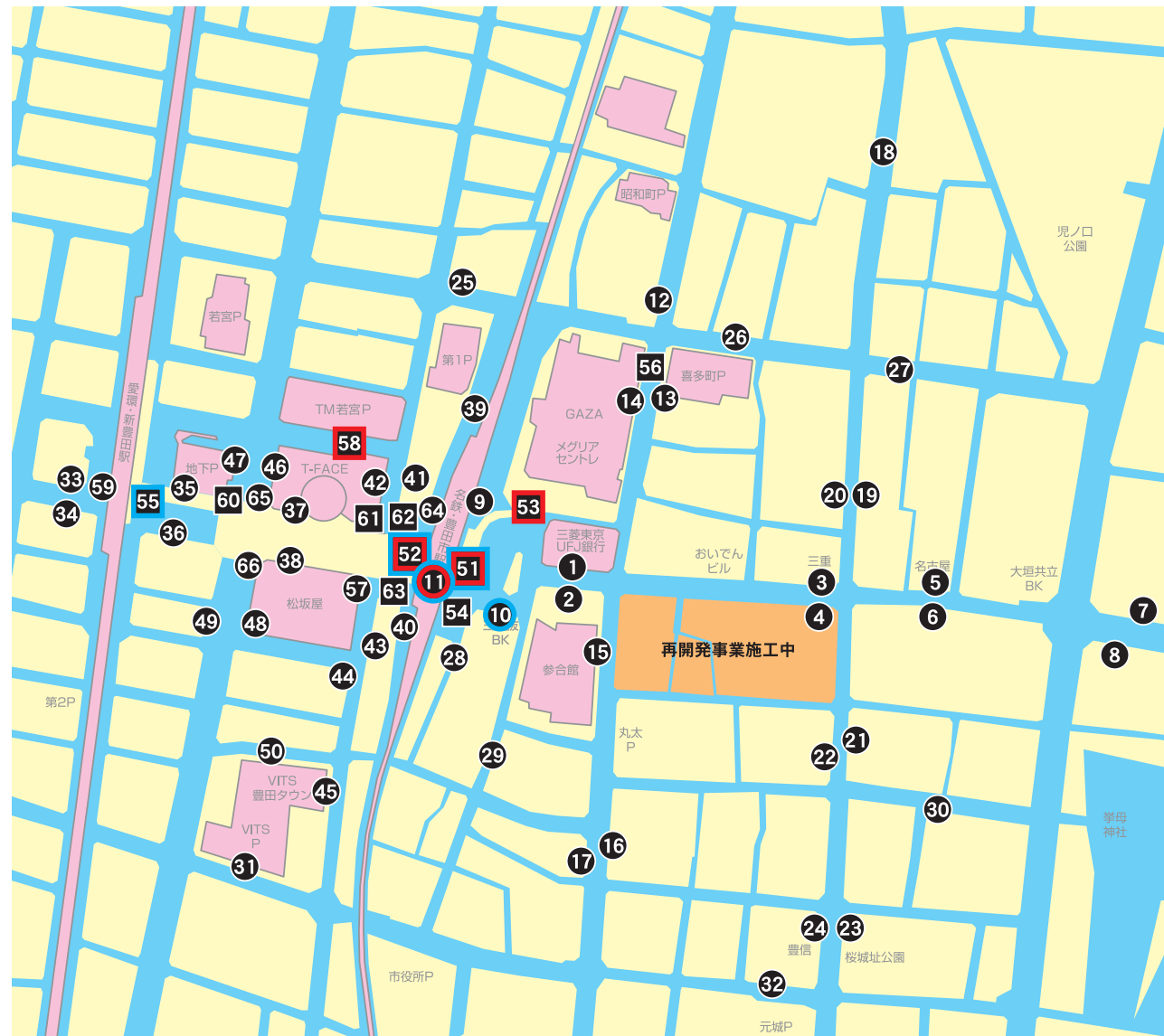


# 資料 通行量調査

出典：平成17年度豊田市中心市街地の通行量調査

## → 調査の目的と実施方法

- 調査目的 様々な要因により変化する通行量の実態を把握し、諸計画立案にあたっての基礎資料とする。
- 調査日時
  - ・休日 平成17年10月2日(日)…曇り時々雨  
基本時間：8時～20時(12時間)豊田市駅周辺は最大7時～22時(15時間)
  - ・平日 平成17年10月5日(水)…雨  
基本時間：8時～20時(12時間)豊田市駅周辺は最大7時～22時(15時間)
- 計測方法 各時間につき45分の計測数値に4/3を乗じて得た数値(小数点以下切上)を、その時間の通行量とし、調査地点ごとに《東西》または《南北》の方向別に通行量(歩行者と自転車)を計測した。
- 調査地点 豊田市中心市街地66地点



● …(丸) グランドレベル  
 ● …(赤枠) 休日の通行量上位5地点  
 ■ …(四角) 2階ペDESTリアンデッキ  
 ● …(青枠) 平日の通行量上位5地点

## → 調査結果概要

### (1) 休日と平日の通行量比較

- 休日 10月2日(日)8時～20時のべ131,128人→[参考：7～22時含む=のべ134,948人]
  - 平日 10月5日(水)8時～20時のべ127,499人→[参考：7～22時含む=のべ137,880人]
- 休日と平日の通行量を比較すると、3,629人平日の方が少ない。

	休日	平日	休日/全通行量
H17	131,128	127,499	50.7%
H16	105,139	118,032	47.1%
H15	116,452	120,598	49.1%
H14	92,596	81,735	53.1%

H14からH16は休日の通行量が年々減少傾向にあったが、H17では増加となった。

※通行量に大幅な違いがあるのは、H16・H15・H14それぞれ、調査地点の数と場所に変化があるため。

### (2) 地点別通行量について

#### ● 休日の通行量上位5

順位	調査地点	通行量(人)
1位	52 デッキ②豊田市駅西口	12,733
2位	51 デッキ①豊田市駅東口	11,771
3位	11 名鉄豊田市駅下ロッセリア前	8,383
4位	53 デッキ③駅東口デッキ北	7,572
5位	58 TM若宮パーキング上空通路	6,204

#### ● 平日の通行量上位5

順位	調査地点	通行量(人)
1位	52 デッキ②豊田市駅西口	14,810
2位	51 デッキ①豊田市駅東口	10,183
3位	55 デッキ⑤新豊田駅東口	7,910
4位	11 名鉄豊田市駅下ロッセリア前	7,569
5位	10 三井住友銀行豊田支店前	5,913

休日と平日で通行量が最も多い地点を比べると、1位と2位は休日・平日ともに「デッキ②豊田市駅西口(No.52)」となった。3位～5位を見ると、平日の5位に地点「TM若宮パーキング上空通路(No.58)」が入った。豊田市駅を中心(デッキ等)に歩行者が集中している結果は、過去4年同じ傾向にある。

### (3) 過去4年間(H14～H17)の比較

#### ● 休日の通行量上位5の変化(H14～H17比較)

調査地点	H17通行量(人)	H16通行量(人)	H15通行量(人)	H14通行量(人)
52 デッキ②豊田市駅西口	① 12,733	① 12,105	① 11,194	① 17,818
51 デッキ①豊田市駅東口	② 11,771	② 11,950	② 9,725	—
11 名鉄豊田市駅下ロッセリア前	③ 8,383	④ 7,078	③ 8,473	② 8,845
53 デッキ③駅東口デッキ北	④ 7,572	③ 7,608	④ 5,979	③ 8,057
58 TM若宮パーキング上空通路	⑤ 6,204	⑤ 6,927	—	—

※H14「デッキ①豊田市駅東口」は調査せず  
 ※H14・H15「TM若宮パーキング上空通路」は未整備  
 ※○文字はそれぞれの調査年度の順位(例①…1位)

#### ● 平日の通行量上位5の変化(H14～H17比較)

調査地点	H17通行量(人)	H16通行量(人)	H15通行量(人)	H14通行量(人)
52 デッキ②豊田市駅西口	① 14,810	① 13,634	① 13,162	① 16,649
51 デッキ①豊田市駅東口	② 10,183	② 10,183	② 9,966	—
55 デッキ⑤新豊田駅東口	③ 7,910	⑤ 6,205	⑤ 6,496	④ 7,479
11 名鉄豊田市駅下ロッセリア前	④ 7,569	③ 6,764	③ 8,181	③ 8,897
10 三井住友銀行豊田支店前	⑤ 5,913	④ 6,467	④ 7,187	② 9,226

休日と平日で通行量が最も多い地点を比べると、1位と2位は休日・平日ともに「デッキ②豊田市駅西口(No.52)」「デッキ①豊田市駅東口(No.51)」となった。3位～5位を見ると、平日の5位に新たな地点「TM若宮パーキング上空通路(No.58)」が入っており、豊田市駅を中心(デッキ等)に歩行者が集中している結果は、過去4年と同じ傾向にある。

### (4) H14(4年前)比較

#### ● 平日の通行量

順位	調査地点	H17通行量	H14比(%)
1位	53 デッキ③駅東口デッキ北	4,394人	108.7
2位	55 デッキ⑤新豊田駅東口	7,910人	105.8
3位	44 丸万豊田ビル東	2,316人	102.8

H14に比べ平日の地点では、「デッキ③駅東口デッキ北(No.53)」「デッキ⑤新豊田駅東口(No.55)」が増加した。駅構内への出入り口付近であり、名鉄豊田市駅・愛環新豊田駅の利用者増が伺える。グランドレベルでは、「丸万豊田ビル東」が増加した。

# まちづくり推進団体

(順不同)

## フリーパーキング事業

愛知県道路公社  
カシマゴビルディング株式会社  
株式会社丸太不動産  
豊田市  
財団法人豊田市都市整備公社  
豊田市都心地区駐車場高度利用協議会

## 豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

株式会社松坂屋 豊田店  
T-FACE会  
トヨタ生活協同組合  
豊田市駅東開発株式会社  
カシマゴビルディング株式会社  
株式会社豊田スタジアム  
トヨタ自動車株式会社  
名鉄トヨタホテル  
ひまわりネットワーク株式会社  
協同組合豊田市商店街連盟  
ヤンチャタウン実行委員会  
豊田市美術館  
豊田市コンサートホール・能楽堂  
豊田商工会議所  
豊田市近代の産業とくらし発見館  
豊田市(オブザーバー)

## その他各団体・教育機関

豊田市中心市街地まちづくり会議  
2005年愛知万博豊田地区推進協議会  
愛知県商店街振興組合連合会  
中心市街地花飾り実行委員会  
イルミネーションストーリー実行委員会  
ワールド・エコノ・ムーブ in とよた実行委員会  
ジョイカルウエイブ  
愛知学泉大学

## テナントミックス事業

株式会社松坂屋 豊田店  
T-FACE会  
トヨタ生活協同組合  
豊田市駅東開発株式会社  
協同組合豊田市商店街連盟  
豊田市  
豊田商工会議所  
名古屋鉄道株式会社

## 商店街

協同組合豊田市商店街連盟  
とよた下町おかみさん会  
ヤンチャタウン実行委員会  
ひまわり通り商店街振興組合  
一番街商店街振興組合  
桜町本通り商店街振興組合  
豊田市駅前商業協同組合  
竹生商店街協同組合  
西町商店街協同組合  
喜多町昭和通り発展会  
新豊田商店街振興組合  
駅東発展会  
昭和町発展会  
元城五番街発展会

## 自治区・地域

一区  
二区西部  
二区東部  
三区  
東区  
西区  
中区  
桜町ほうだら会(桜町まちづくり協議会)  
竹の子村まちづくり協議会